

- 問1 1868年（慶応4年）、明治天皇が神に誓う形式で発表した、明治新政府の政治の基本方針を何といいますか。（2017年 和歌山県公立入試 類似）
1. 五箇条の御誓文
 2. 五榜の掲示
 3. 教育勅語
 4. 大日本帝国憲法
- 問2 明治政府が1873年から開始した租税制度の改革である「地租改正」の内容について、正しい説明はどれですか。（2019年 山口県公立入試 類似）
1. 地価を基準として、耕作者に収穫した米を納税させる仕組みとした。
 2. 収穫量を基準として、収穫した米を納税させる仕組みとした。
 3. 地価を基準として、土地の所有者に現金を納税させる仕組みとした。
 4. 収穫量を基準として、土地の所有者に現金を納税させる仕組みとした。
- 問3 1871年に実施された廃藩置県により、明治政府は中央集権体制を確立しようとしてしました。この際、新たに設置された府や県を統治するために行われた措置として正しいものはどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. 地方の有力な士族の中から話し合いで選出された人物を、臨時の地方官に任命した。
 2. 各府県の住民による直接選挙を実施し、公選によって選ばれた代表者に統治を任せた。
 3. 旧藩主をそのまま知事として世襲させ、各地域独自の法律による統治を認めた。
 4. 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。
- 問4 1872年の出来事について記した略年表において、東京の新橋との間で日本初の鉄道が開通したと説明されている港町はどこか、次の中から選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 新潟
 2. 神戸
 3. 横浜
 4. 長崎
- 問5 1873年に明治政府が実施した租税制度の改革について、土地所有者に「地券」を発行し、土地の価格である地価を基準とした一定の税率を、米などの収穫物ではなく現金で納めさせるようにした仕組みを何といいますか。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 版籍奉還
 2. 廃藩置県
 3. 地租改正
 4. 殖産興業
- 問6 明治維新の指導者の一人として活躍した政治家で、天皇を中心とする中央集権国家のしくみを整えるために、版籍奉還や廃藩置県などを強力に推進した人物は誰ですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）
1. 木戸孝允
 2. 天武天皇
 3. 徳川家光
 4. 足利義満
- 問7 明治政府が1873年から実施した地租改正において、それまでの江戸時代の年貢（租税）の納め方と大きく異なる点はどれか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 耕作者が、地価の3%を米で納めるようになった
 2. 耕作者が、収穫量の3%を米で納めるようになった
 3. 土地の所有者が、地価の3%を現金で納めるようになった
 4. 土地の所有者が、収穫量の3%を現金で納めるようになった
- 問8 1871年に行われた大規模な政治改革について、当時の状況を記した記録によると、旧藩主たちはそれまでの地位を失って東京への移住を命じられ、代わりに大山綱良のような官吏が「県令」として政府から派遣されました。この改革に対し、薩摩藩の島津久光のように強い不満を抱く有力者も現れました。この改革が実施された最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 武士の特権を廃止し、四民平等の社会を実現して国民の不満を抑えるため
 2. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織するため
 3. 中央政府による全国の直接支配を確立し、強力な中央集権国家を築くため
 4. 土地の所有権を明確にし、地価に応じた現金を徴収することで政府の財政を安定させるため
- 問9 新政府による「王政復古の大号令」に反発した旧幕府軍が、京都へ進軍する過程で新政府軍と衝突して始まった一連の内戦を「戊辰戦争」といいます。この戦争の始まりとなった、京都近郊で行われた戦いの名称を答えなさい。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 五稜郭の戦い
 2. 鳥羽・伏見の戦い
 3. 禁門の変
 4. 西南戦争
- 問10 1870年時点における世界の工業生産シェアにおいて、イギリスが3割以上を占めるなど欧米諸国で工業化が進んでいた背景を踏まえ、明治政府がお雇い外国人を招いて行った政策の目的として最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 江戸時代の封建的な身分制度を維持しながら、特定の軍事技術だけを効率的に習得させるため。
 2. 外国の資本を直接受け入れ、国内の主要な鉱山や工場の経営をすべて外国人に委ねることで経済を安定させるため。
 3. 欧米の先進的な技術や制度を導入することで、産業の育成や軍備の強化を図り、日本の近代化を押し進めるため。
 4. 不平等条約の改正を有利に進めるために、欧米諸国のキリスト教を日本国内に普及させる活動を支援させるため。
- 問11 明治政府が「文明開化」と呼ばれる大規模な生活や制度の西洋化を後押しした理由の一つに、外交上の大きな目的がありました。その目的として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. 武士の特権を維持し、江戸時代の身分制度をより強固なものに再編するため。
 2. 江戸時代から続く鎖国体制を維持するために、外国の技術だけを部分的に取り入れるため。
 3. 日本独自の伝統文化を否定し、すべての国民をキリスト教徒に改宗させるため。
 4. 欧米諸国に日本が近代的な文明国であることを認めさせ、不平等条約の改正を有利に進めるため。
- 問12 1873年に制定された徴兵令の背景や目的、およびその影響を説明した文として、最も適切なものはどれか。（2023年 静岡県公立入試 類似）
1. 近代国家にふさわしい人材を育成するため、すべての子どもに小学校教育を受けさせることを義務づけた。
 2. 武士に代わる近代的な軍隊を組織するため、身分に関わらず満20歳になった男子に兵役に就く義務を課した。
 3. 天皇を中心とした中央集権体制を強めるため、全国の藩を廃止して新たに府や県を置いた。
 4. 政府の財政を安定させるため、土地の所有者に地券を発行し、地価の3%を現金で納めさせた。
- 問13 1873年（明治6年）から実施された地租改正において、税額を算出する基準と納税の方法はどのように定められましたか。正しい組み合わせを選びなさい。（2015年 岐阜県公立入試 類似）
1. 土地の価格（地価）を基準とし、米で納める方式
 2. その年の収穫量を基準とし、米で納める方式
 3. 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式
 4. その年の収穫量を基準とし、現金で納める方式
- 問14 明治政府が地租改正を行い、税を収穫高ではなく「地価」を基準に、米ではなく「貨幣」で納めさせるようにした最大の目的は何ですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
1. 農村における米の消費量を増やし、自給自足を促すため
 2. 豊凶に関わらず、政府の税収を安定させるため
 3. 土地の所有権を政府に集約し、国有地を拡大するため
 4. 米の価格の変動を抑え、農民の生活を保護するため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 五箇条の御誓文	明治新政府が発足して間もない時期に、新しい国づくりの指針として示されました。天皇が神々に誓うという形式をとり、公議世論の尊重や開国進取などが掲げられました。民衆に対して出された「五榜の掲示」とは、対象や内容が異なるため区別が必要です。
問2	答え 3 地価を基準として、土地の所有者に現金を納税させる仕組みとした。	江戸時代の年貢は「収穫量」を基準に「米（現物）」で納めていましたが、天候による収穫量の増減で政府の収入が不安定になる欠点がありました。明治政府は財政を安定させるため、土地の価値である「地価」を基準にし、さらに豊作・凶作に左右されない「現金」で納めさせる仕組みへと改めました。
問3	答え 4 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。	明治政府は、それまでの藩を廃止して府と県を置く「廃藩置県」を断行しました。これに伴い、旧藩主が地方を治める仕組みを改め、政府が直接任命した官吏である「府知事」や「県令」を中央から派遣することで、全国の情報を政府が把握し、命令を直接行き渡らせる中央集権的な統治体制を築きました。なお、住民による直接選挙（公選知事）が導入されるのは、第二次世界大戦後の日本国憲法下の改革を待つことになります。
問4	答え 3 横浜	明治政府は、欧米の進んだ技術や制度を取り入れて国力を高める「文明開化」を推進しました。その象徴的な事業として、1872年にイギリスの技術協力を得て、新橋（東京）と横浜の間に日本初の鉄道が開通しました。横浜は開国以来、海外の文化や物資が流入する主要な拠点であったため、首都と結ぶルートとして優先的に整備されました。
問5	答え 3 地租改正	明治政府は、国家財政を安定させるために大規模な税制改革を行いました。それまでの豊作・不作に左右される米による納税（物納）から、土地の価格（地価）に基づいた金納（現金による納税）へと切り替えたことが大きな特徴です。この際、土地の所有権を正式に認める証書として「地券」が土地所有者に交付されました。
問6	答え 1 木戸孝允	幕末の薩長同盟において重要な役割を果たした人物で、明治新政府では廃藩置県などの改革を主導しました。これらは、江戸時代まで続いていた藩の仕組みを廃止し、全国を政府が直接統治する中央集権体制を確立することを目的としていました。
問7	答え 3 土地の所有者が、地価の3%を現金で納めるようになった	地租改正の大きな転換点は、課税の基準を「収穫量」から「地価（土地の価格）」に変え、納税方法を「物納（米）」から「金納（現金）」に、納税者を「耕作者」から「土地の所有者（地券所有者）」に変更したことにあります。これにより、政府は天候による収穫の増減に左右されず、安定した税収を得ることができるようになりました。
問8	答え 3 中央政府による全国の直接支配を確立し、強力な中央集権国家を築くため	旧藩主を領地から引き離して東京に住ませ、政府が任命した知事や県令を派遣した目的は、藩という独立性の高い組織を解消し、中央政府の命令が全国に届く「中央集権体制」を確立することにあります。これにより、江戸時代から続いた地方分権的な仕組みが終わりを告げました。他の選択肢は地租改正（財政）や徴兵令（軍事）の説明であり、この政治改革の直接的な目的ではありません。
問9	答え 2 鳥羽・伏見の戦い	政権返上後も続いた旧幕府勢力と新政府勢力の対立は、1868年1月の「鳥羽・伏見の戦い」によって武力衝突へと発展しました。これが約1年半にわたる「戊辰戦争」の初戦となり、戦いの舞台はその後、東北、そして北海道の五稜郭へと移っていきました。
問10	答え 3 欧米の先進的な技術や制度を導入することで、産業の育成や軍備の強化を図り、日本の近代化を推し進めるため。	明治政府は「富国強兵」を掲げ、先行して工業化を達成していたイギリスやドイツなどの技術を吸収することで、短期間で国力を高めようとしていました。お雇い外国人は、鉄道の敷設、通信網の整備、官営模範工場の建設、近代적軍隊の編制、大学での教育など、多岐にわたる分野で日本の基盤づくりを支えました。
問11	答え 4 欧米諸国に日本が近代的な文明国であることを認めさせ、不平等条約の改正を有利に進めるため。	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は国家の悲願でした。西洋の文化や制度を積極的に取り入れることで、日本が欧米に劣らない「文明国家」であることを対外的に証明し、対等な立場での条約交渉を目指すという背景がありました。そのため、単なる流行としてではなく、国策として西洋化が推し進められました。
問12	答え 2 武士に代わる近代的な軍隊を組織するため、身分に関わらず満20歳になった男子に兵役に就く義務を課した。	それまでの軍事は武士の特権でしたが、徴兵令の導入により平民も軍役に担うことになりました。この変化は「四民平等」の理念を軍事面で実現するものでしたが、家を支える働き手を失う農民層からは強い反発を招き、各地で血税一揆と呼ばれる反対運動が発生する要因にもなりました。
問13	答え 3 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式	明治政府は近代国家の運営資金を確保するため、従来の年貢制度を根本から改めました。土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、収穫量ではなく土地そのものの価値である「地価」を課税基準とし、その3%（のちに2.5%）を現金で納めさせる仕組みを整えました。
問14	答え 2 豊凶に関わらず、政府の税収を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫高に応じて決まっていたため、凶作の年には政府の収入が激減し、国家予算を立てることが困難でした。地価に応じた一定額を貨幣で徴収する地租改正により、政府は気候や作柄に左右されることなく、計画的で安定した国家収入を得ることが可能になりました。

- 問1 明治政府が北海道の開拓において、単なる農民の移住ではなく「屯田兵」という制度を採用した理由として、当時の社会情勢を踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 海外への輸出を目的とした軍事用物資の生産を専門に行わせるため | 2. 秩禄処分などによって生活に困窮した士族に、職と役割を与えるため | 3. アイヌの人々から土地を買い取るための交渉役として軍人が必要だったため | 4. 江戸時代の身分制度を維持し、武士が農民を支配する仕組みを作るため |
|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
-
- 問2 明治初期の東京において、人口が一時的に100万人から60万人規模まで減少した現象に関わり、当時の社会制度の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 版籍奉還によって土地と人民が天皇に返還された際、東京の住民はすべて強制的に出身地へ帰された。 | 2. 江戸から東京への改称に伴い、旧幕府に関係していた全ての居住者が都市部から追放される法令が出された。 | 3. 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。 | 4. 武士が特権を失ったため、新たな職業を求めて北海道の開拓に従事する士族授産が東京の全人口の半数に適用された。 |
|---|--|---|--|
-
- 問3 明治政府が土地の所有者と地価を確定するために「地券」を発行し、地租改正を断行した主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 農民の税負担を大幅に軽減し、生活を安定させるため。 | 2. 江戸時代のように、村全体で連帯して納税する習慣を維持するため。 | 3. 土地の売買を禁止し、すべての土地を国有化するため。 | 4. 政府の財政基盤を固め、毎年の税収を一定にするため。 |
|------------------------------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
-
- 問4 1870年代、明治政府は財政を安定させるために地租改正を実施しました。この際、政府が土地の所有権を認める証書として、土地所有者に発行した権利証を何といいますか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|-------|--------|
| 1. 地券 | 2. 公地公民 | 3. 免状 | 4. 株仲間 |
|-------|---------|-------|--------|
-
- 問5 明治初期の政府内では、日本との正式な国交を拒んでいた朝鮮に対し、武力を用いてでも開国を迫るべきだとする主張が生まれました。この主張を何といいますか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 征韓論 | 2. 地租改正 | 3. 文明開化 | 4. 尊王攘夷 |
|--------|---------|---------|---------|
-
- 問6 明治政府が江戸時代の年貢制度を廃止し、地租改正を行った最大の目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 農民の税負担を大幅に軽減することで、地方での一揆を鎮め、新政府への支持を固めるため | 2. 土地の売買を禁止し、すべての土地を国有化することで、政府による直接的な農業指導を強化するため | 3. 豊作や不作、あるいは米の市場価格の変動に左右されることなく、政府が安定した収入を得られるようにするため | 4. 米による納税を継続しつつ、農民が余った米を自由に輸出できるようにして外貨を稼げるため |
|--|---|--|---|
-
- 問7 1860年代から明治初期にかけての出来事を記した年表において、1868年の鳥羽・伏見の戦いに始まり、その翌年に旧幕府軍が新政府軍に敗北するまで続いた一連の内戦を何と呼びますか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 西南戦争 | 2. 戊辰戦争 | 3. 攘夷運動 | 4. 応仁の乱 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問8 18世紀後半から19世紀にかけてのイギリスでは、技術革新によって社会が大きく変容しました。この時期、綿織物の大量生産を可能にし、のちに鉄道などの交通機関にも利用された動力源と、その主な燃料の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|------------|----------------|
| 1. 内燃機関と石油 | 2. 水車と薪 | 3. 蒸気機関と石炭 | 4. 電気モーターと天然ガス |
|------------|---------|------------|----------------|
-
- 問9 明治政府が1872年に「学制」を公布し、近代的な教育制度を導入した主な目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 農村の労働力を確保するために、読み書きよりも農業技術の習得を優先させること | 2. 藩校での教育を全国に広めることで、武士階級の伝統的な教養を維持すること | 3. 文明開化や富国強兵を推進するため、国家の近代化を支える有能な人材を育成すること | 4. キリスト教の布教を制限するために、仏教を基盤とした教育体制を再構築すること |
|--|--|--|--|
-
- 問10 1873年(明治6年)から実施された地租改正において、税額を算出する基準と納税の方法はどのように定められましたか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 1. 土地の価格(地価)を基準とし、現金で納める方式 | 2. 土地の価格(地価)を基準とし、米で納める方式 | 3. その年の収穫量を基準とし、米で納める方式 | 4. その年の収穫量を基準とし、現金で納める方式 |
|----------------------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|
-
- 問11 岩倉使節団が帰国した後、政府内では朝鮮への派兵を巡る「征韓論」が対立を深めたが、視察を終えた岩倉具視や大久保利通らが主張した考え方として適切なものはどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日本はすでに欧米と同等の軍事力を備えているため、外交よりも武力行使を重視すべきである。 | 2. 欧米諸国がアジアへの進出を諦めていることを確認したため、軍備を縮小すべきである。 | 3. 欧米諸国に対抗するため、即座に武力を用いて海外へ領土を広げるべきである。 | 4. 欧米の国力と日本の現状の差を痛感したため、まずは国内の整備を優先すべきである。 |
|--|---|---|--|
-
- 問12 明治政府が「学制」の公布や「徴兵令」の布告といった大規模な改革を短期間のうちに断行した背景にある、当時の政府の基本的な方針として最も適切なものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 1. 欧米列強に対抗できる経済力と軍事力を持つ「富国強兵」を目指したため。 | 2. 地方の農村の自治を尊重し、重い税負担を軽減することで国民の支持を得るため。 | 3. 江戸時代の身分制度を維持し、士族の特権を守ることで社会の安定を図るため。 | 4. 外国との交易を制限し、日本独自の伝統文化を保護することを最優先したため。 |
|---------------------------------------|--|---|---|
-
- 問13 地租改正が実施された後の経過について述べた文章のうち、正しいものはどれですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---|--|------------------------------------|
| 1. 納税方法が米に戻されたことで、農民の不満は解消された。 | 2. 地租改正によってすべての農民が自分の土地を持つことができ、小作農はいなくなった。 | 3. 地価の3パーセントという税負担が重かったため、各地で反対一揆が起こり、のちに2.5パーセントに引き下げられた。 | 4. 物価が下落したため、現金を納める農民の負担は非常に軽くなった。 |
|--------------------------------|---|--|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 秩禄処分などによって生活に困窮した士族に、職と役割を与えるため	明治政府による秩禄処分（家禄の廃止）などで特権を失った士族は、各地で反乱（士族の反乱）を起こすなど社会不安の要因となっていました。屯田兵は、これら生活に困った士族を北海道の警備と開拓に従事させることで、士族の救済と北方の防衛という二つの課題を同時に解決しようとした制度です。
問2	答え 3 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。	江戸時代の東京（江戸）は、参勤交代制度によって全国の大名やその家臣が集まる政治の中心地として人口が膨れ上がっていました。しかし、明治維新後の廃藩置県によって、それまでの藩という枠組みが消滅し、武士たちは東京に留まる公的な理由を失いました。これにより、多くの武士が家族を連れて自らの領地や故郷へ引き揚げたことが、当時の統計における急激な人口減の直接的な理由です。
問3	答え 4 政府の財政基盤を固め、毎年の税収を一定にするため。	地租改正は、近代国家としての基盤を固めるための財政改革でした。収穫量ではなく、あらかじめ定められた地価に対して一定の割合（当初は3%）を課税することで、天候に左右されず、計画的に予算を立てられる安定した国家収入を確保することを目指しました。また、地券を発行することで、誰がその土地の所有者であるかを公的に認め、土地の売買も自由になりました。
問4	答え 1 地券	明治政府は1873年から、近代的で安定した税収を確保するために地租改正を行いました。政府はまず土地の測量と収益の調査を行い、土地の所有者に「地券」を交付して、その土地の所有権を公式に認めました。これにより、従来の「村単位で米を納める」方式から、「個人が地価に応じた現金を納める」方式へと大きく転換しました。
問5	答え 1 征韓論	明治初期、新政府の内部では朝鮮への対応を巡る議論が活発化しました。西郷隆盛や板垣退助らは、武力行使を辞さない構えで開国を求める「征韓論」を主張しましたが、岩倉使節団として欧米を視察し、内政の充実が急務であると痛感した大久保利通らと激しく対立することとなりました。
問6	答え 3 豊作や不作、あるいは米の市場価格の変動に左右されることなく、政府が安定した収入を得られるようにするため	江戸時代の年貢は米で納められていたため、天候不順による不作や、米の価格下落が直接政府の減収につながり、財政が不安定でした。地租改正では、天候に関わらず一定である「地価」を基準にし、さらに「現金」で納税させることで、政府が年間の予算を計画的に立てられる安定した国家財政の基礎を築こうとしました。
問7	答え 2 戊辰戦争	江戸幕府が政権を朝廷に返上した大政奉還の後、新政府の樹立を宣言した新政府軍と、それに反対する旧幕府軍との間で戦われた戦争です。1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、翌年の五稜郭の戦いで旧幕府軍が降伏したことにより、新政府による国内統治が確立しました。1877年に起こった士族の反乱である西南戦争と混同しないよう注意が必要です。
問8	答え 3 蒸気機関と石炭	産業革命期のイギリスでは、ワットらによって改良された蒸気機関が普及し、それまでの水力や人力を上回る圧倒的な動力を得ることが可能になりました。この蒸気機関を動かすための主要なエネルギー源として石炭が大量に採掘され、工業化の進展を支えました。この動きは綿工業から始まり、のちに製鉄業や鉄道、蒸気船といった交通の分野へも広がっていきました。
問9	答え 3 文明開化や富国強兵を推進するため、国家の近代化を支える有能な人材を育成すること	明治政府が掲げた「富国強兵」や「文明開化」といった目標を達成するには、科学技術や新しい知識を吸収できる国民の育成が不可欠でした。学制はそれまでの身分制に基づいた教育を否定し、実力主義的な近代社会の基礎を作る役割を担っていました。
問10	答え 1 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式	明治政府は近代国家の運営資金を確保するため、従来の年貢制度を根本から改めました。土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、収穫量ではなく土地そのものの価値である「地価」を課税基準とし、その3%（のちに2.5%）を現金で納めさせる仕組みを整えました。
問11	答え 4 欧米の国力と日本の現状の差を痛感したため、まずは国内の整備を優先すべきである。	欧米諸国の圧倒的な産業力や軍事力を目の当たりにした使節団のメンバーは、当時の日本が対外的な軍事行動を起こすのは時期尚早であると考えました。彼らは「内治優先」を掲げ、憲法の制定や産業の育成（殖産興業）など、国内の近代化を最優先する方針をとり、征韓論を主張する西郷隆盛らと激しく対立することとなりました。
問12	答え 1 欧米列強に対抗できる経済力と軍事力を持つ「富国強兵」を目指したため。	明治維新後、政府は欧米列強による植民地化を防ぎ、対等な立場を築くために「富国強兵」を掲げました。この目標を達成するためには、国民全体の知識水準を向上させる教育（学制）や、身分を問わず組織された近代的な軍隊（徴兵令）が必要不可欠であると考えられ、急速な社会制度の改革が進められました。
問13	答え 3 地価の3パーセントという税負担が重かったため、各地で反対一揆が起こり、のちに2.5パーセントに引き下げられた。	地租改正によって設定された「地価の3%」という税率は、江戸時代の年貢と変わらないほど重い負担でした。これに反対する農民たちが各地で激しい「地租改正反対一揆」を起こしたため、明治政府は1877年に税率を2.5%に引き下げる措置をとりました。このように、制度の導入には民衆の強い抵抗が伴いました。

- 問1 明治維新の指導者の一人として活躍した政治家で、天皇を中心とする中央集権国家のしくみを整えるために、版籍奉還や廃藩置県などを強力に推進した人物は誰ですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義満 | 2. 徳川家光 | 3. 木戸孝允 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問2 明治政府が1872年に、近代化を進めるための教育の基盤として公布した、日本で最初の近代的学校制度を定めた法令は何か答えなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|--------|-------|
| 1. 教育勅語 | 2. 教育基本法 | 3. 解放令 | 4. 学制 |
|---------|----------|--------|-------|
- 問3 明治政府が1872年から1879年にかけて行った、琉球王国を日本の一つの地方行政単位として組み込んでいく一連の措置に関する記述として、正しいものはどれですか。組織名の変遷に注目して選びなさい。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. まず沖縄藩を設置して政府の管轄とし、その後に県庁を置いて沖縄県とした | 2. まず沖縄県を設置して近代化を進め、その後に自治を認めて琉球藩とした | 3. まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後に藩を廃止して沖縄県を置いた | 4. まず琉球王国を廃止して沖縄藩を設置し、最終的に鹿児島県に編入した |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問4 1873年に明治政府が実施した租税制度の改革について、土地所有者に「地券」を発行し、土地の価格である地価を基準とした一定の税率を、米などの収穫物ではなく現金で納めさせるようにした仕組みを何といいますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 殖産興業 | 2. 版籍奉還 | 3. 地租改正 | 4. 廃藩置県 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 地租改正の実施により、明治政府の財政運営はどのように変化しましたか。その仕組みの背景を含めて説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 小作人に土地を安く売り渡すことで、自作農を増やして農業生産力を高め、税収を倍増させた。 | 2. 土地をすべて国有化し、国民から一律に地代を徴収することで、身分制度の解体を進めた。 | 3. 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。 | 4. 収穫量に応じて税率を毎年変動させる仕組みを導入し、農民の負担を大幅に軽減させた。 |
|--|--|--|---|
- 問6 江戸から東京へと改称された都市部を中心に、西洋の文化が取り入れられた当時の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 鎖国が継続され、外国の技術や思想を取り入れることが厳しく制限された。 | 2. 身分制度が強化され、職業や住居の選択の自由が失われた。 | 3. 武士が刀を差して歩く姿が一般的になり、伝統的な建築様式が義務付けられた。 | 4. ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。 |
|---------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
- 問7 1872年に明治政府が公布した、日本初の近代的な学校制度に関する説明として、内容が正しいものを選択してください。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
| 1. 武士の身分を持つ男子のみを対象として、藩校での教育を義務付けた。 | 2. 女性の参政権を確立するために、高等教育への進学を全国民に強制した。 | 3. 日本独自の伝統を重視し、戦後の教育の基本原則を定めた教育基本法に基づいている。 | 4. 身分や男女の区別なく、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
- 問8 明治政府が、都市部においてガス灯の設置や洋風建築の導入といった「文明開化」を積極的に後押しした政治的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江戸時代の伝統文化を完全に否定することで、幕府の権威を民衆の記憶から消し去るため。 | 2. 都市部と農村部の経済格差を解消し、日本全体の生活水準を一律に向上させるため。 | 3. 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 | 4. 日本独自の「和魂洋才」という精神を世界に広め、アジアのリーダーとしての地位を確立するため。 |
|--|---|---|--|
- 問9 明治政府が地租改正において、税の納め方を「米」から「現金」に変更し、基準を「収穫量」ではなく「地価」とした最大の理由は何ですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| 1. 徴兵令の実施に伴い、農民に武器を購入する資金を準備させるため。 | 2. 農村での貨幣経済の普及を遅らせ、伝統的な農業形態を維持させるため。 | 3. 欧米諸国からの要求に応じ、輸出用の米を政府が直接管理しやすくするため。 | 4. 天候や米の価格変動に左右されず、政府が安定した予算を立てられるようにするため。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
- 問10 江戸時代の「検地帳」と明治時代の「地券」という2つの資料を比較したとき、地租改正によって新しく導入された考え方として説明できるものはどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 実際に土地を耕している小作人を保護し、収穫物の大半を小作人のものとした | 2. 土地の広さに関わらず、栽培する作物の種類によって税率を決定した | 3. 土地の売買を厳しく制限し、先祖代々の土地を失わないようにした | 4. 土地を個人の財産として認め、その正当な所有者に納税の義務を負わせた |
|--|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問11 1873年（明治6年）から実施された地租改正において、税額を算出する基準と納税の方法はどのように定められましたか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------|
| 1. 土地の価格（地価）を基準とし、米で納める方式 | 2. その年の収穫量を基準とし、現金で納める方式 | 3. 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式 | 4. その年の収穫量を基準とし、米で納める方式 |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------|
- 問12 明治政府が1873年から実施した地租改正において、税の納め方を「米」から「現金」に、また課税の基準を「収穫量」から「地価」へと変更した主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 地主の権限を弱め、すべての農民に平等に土地を分配し直すため。 | 2. 農村での貨幣経済を抑制し、封建的な社会制度を維持するため。 | 3. 土地の売買を禁止することで、農民が土地を失わないように保護するため。 | 4. 豊作や不作にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため。 |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問13 明治政府の重鎮である大久保利通が、1873年に内務省を設置して自ら初代内閣卿に就任し、強力に政治を推し進めた背景にある考え方として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 国民の声を広く政治に反映させるため、速やかに国会を開設して政党政治を確立する必要があると考えた。 | 2. 武士の特権を維持することで、地方での反乱を未然に防ぎ、不平士族の不満を解消しようと考えた。 | 3. 欧米諸国に対抗するため、国内の治安維持と産業の育成（殖産興業）を一体化して推進する必要があると考えた。 | 4. 天皇を中心とした中央集権体制を固めるため、廃藩置県を断行し、江戸時代の幕藩体制を完全に否定しようと考えた。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 木戸孝允	幕末の薩長同盟において重要な役割を果たした人物で、明治新政府では廃藩置県などの改革を主導しました。これらは、江戸時代まで続いていた藩の仕組みを廃止し、全国を政府が直接統治する中央集権体制を確立することを目的としていました。
問2	答え 4 学制	明治政府は、欧米諸国に対抗できる近代国家を建設するためには国民全体の知識水準を上げることが不可欠であると考え、1872年にこの法令を公布しました。これにより、全国に小学校を設置し、身分や男女の区別なくすべての国民が教育を受ける体制が整えられ始めました。
問3	答え 3 まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後、藩を廃止して沖縄県を置いた	明治政府は中央集権国家の確立と国境の画定を急いでいました。1872年に琉球王国を琉球藩とし、国王の尚泰を藩王とすることで日本政府の支配下にあることを示しました。さらに1879年、警察や軍隊の力を背景に琉球藩を廃止して沖縄県を設置し、完全に日本の地方行政組織に組み込みました。この一連の政治的措置を「琉球処分」と呼びます。
問4	答え 3 地租改正	明治政府は、国家財政を安定させるために大規模な税制改革を行いました。それまでの豊作・不作に左右される米による納税（物納）から、土地の価格（地価）に基づいた金納（現金による納税）へと切り替えたことが大きな特徴です。この際、土地の所有権を正式に認める証書として「地券」が土地所有者に交付されました。
問5	答え 3 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。	地租改正の大きな目的は、国家予算を安定させることでした。基準を「地価」という固定的な値にし、納税を「現金」としたことで、農作物の価格変動や収穫量の増減に政府の収入が左右されなくなり、近代国家としての計画的な財政運営が可能になりました。なお、小作人への土地の売り渡しは第二次世界大戦後の農地改革の説明であり、地租改正の内容とは異なります。
問6	答え 4 ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。	明治初期の東京では、それまでのチョンマゲを切り落とした「ザンギリ頭」が流行し、銀座などではレンガ造りの街並みが整備されました。このように、生活の隅々にまで西洋の文化が浸透していったことが、当時の大きな特徴です。
問7	答え 4 身分や男女の区別なく、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するためには国民全体の知識水準を上げることが不可欠であると考え、1872年に「学制」を公布しました。これにより、それまでの身分制に基づいた教育ではなく、身分や男女の区別を廃した「国民皆学」の理念が掲げられ、すべての子供が小学校に通うことが義務付けられました。
問8	答え 3 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばされた不平等条約の改正は国家の悲願でした。そのためには、日本が法制度だけでなく社会生活においても欧米並みの「文明」を備えた近代国家であることを対外的に証明する必要がありました。このように、生活様式の変化は単なる流行ではなく、外交上の目的とも深く結びついていました。
問9	答え 4 天候や米の価格変動に左右されず、政府が安定した予算を立てられるようにするため。	江戸時代の年貢（米納）は、その年の収穫量や米の市場価格によって政府の収入が大きく変動するという欠点がありました。近代化を進める明治政府にとって、軍隊の整備や産業の育成（殖産興業）には計画的な予算編成が不可欠でした。そのため、土地の価値（地価）に基づいた一定額の現金を徴収することで、作柄に関わらず毎年決まった額の税収を確保できる仕組みを整えたのです。これが地租改正の最も重要な目的でした。
問10	答え 4 土地を個人の財産として認め、その正当な所有者に納税の義務を負わせた	江戸時代の検地帳には実際に耕作を行う者の名前が記されていましたが、地租改正で発行された地券には、土地の価値である「地価」とともに、その土地の「所有者」が明記されました。これにより土地の私有権が法的に認められ、土地の売買も自由になりましたが、同時に地主が納税の責任を負う仕組みとなりました。
問11	答え 3 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式	明治政府は近代国家の運営資金を確保するため、従来の年貢制度を根本から改めました。土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、収穫量ではなく土地そのものの価値である「地価」を課税基準とし、その3%（のちに2.5%）を現金で納めさせる仕組みを整えました。
問12	答え 4 豊作や不作にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は「豊作なら多く、不作なら少なく」という仕組みだったため、政府（幕府や藩）の収入が不安定でした。近代化を進める明治政府は、軍隊の整備や産業の育成に多額の資金を必要としたため、地価（土地の値段）を基準に税率を固定し、さらに現金で納めさせることで、景気や農作物の出来に左右されない確実な予算編成を行おうとしました。この改革は後に地主と小作人の関係を固定化させる要因にもなりました。
問13	答え 3 欧米諸国に対抗するため、国内の治安維持と産業の育成（殖産興業）を一体化して推進する必要があると考えた。	大久保利通は、岩倉使節団でイギリスなどの先進国を視察した経験から、日本の独立を維持するためには内政の充実（富国）が最優先であると判断しました。そのため、警察権を握ることで国内の混乱を抑えつつ、政府主導で鉄道や通信、官営模範工場を整備する「殖産興業」を強力に実行するための拠点として内務省を機能させました。

- 問1 明治初期の様子を描いた劇において、徴兵検査に合格した次男が家を離れることになり、さらに満6歳になった末っ子が小学校に通い始めることで、貴重な労働力を失うことを嘆く農民一家の場面があります。このような国民の負担増を伴う改革を明治政府が推し進めた、最大の目的は何ですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 江戸時代の身分制度を廃止して、すべての国民を平等にするため | 2. 土地の所有権を明確にし、地価の3%を現金で徴収して税収を安定させるため | 3. 藩を廃止して県を置くことで、中央政府による統治を徹底するため | 4. 軍事を強め、経済を発展させて欧米に並ぶ国力をつけるため |
|----------------------------------|--|-----------------------------------|--------------------------------|
- 問2 明治政府が行った地租改正によって、租税の納め方はどのように変化しましたか。それまでの江戸時代の仕組みと比較した説明として正しいものを選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 土地の所有者が、地価を基準として一定額の現金を納めるようになった。 | 2. 農民が、収穫した米を市場で売却した利益の半分を納めるようになった。 | 3. 土地の所有者が、収穫量に応じた分量の米を納めるようになった。 | 4. 村ごとに、その年の収穫高に応じた地租をまとめて納めるようになった。 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問3 明治政府の収入の変化をたどると、1875年時点では政府収入の約8割以上を「地租」が占めていましたが、1900年に向けてその割合は徐々に低下していきました。このように初期の政府が地租を重視した理由と、その後の占有率低下の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 江戸時代からの年貢の仕組みを維持した結果、都市部の人口増加に対応できなくなったため | 2. 安定した財政基盤を築くために地租を主軸としたが、産業の発展に伴い他の税収が増えたため。 | 3. 自由民権運動の要求を受け入れ、地租を全国一律で免除する決定を下したため。 | 4. 不作の年に農民の負担を減らすため地租を廃止し、所得税に一本化したため。 |
|--|--|---|--|
- 問4 明治時代初期、東京の街並みには西洋風のレンガ造りの建物が立ち並び、路上を馬車が行き交うようになりました。また、洋服を着た人々が増え、牛肉を食べる習慣が広まるなど、生活様式が劇的に変化したこの社会現象を何といいますか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 廃藩置県 | 3. 学制 | 4. 富国強兵 |
|---------|---------|-------|---------|
- 問5 明治新政府が、それまでの太陰太陽暦を廃止して太陽暦を採用した背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 古くから伝わる干支や暦の習慣を全国一律に禁止し、キリスト教を国教化するため | 2. 農業生産を向上させるために、月の満ち欠けに基づいた農作業の伝統を保護するため | 3. 藩ごとに異なっていた独自の暦を統一することで、中央集権的な軍事動員を容易にするため | 4. 欧米諸国と共通の基準を導入することで、近代国家としての体裁を整えるため |
|--|---|--|--|
- 問6 明治政府が地租改正を実施した際、土地の所有者に発行された証明書と、それに基づいた徴税の方法について述べたものとして、適切なものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 検地帳を作成して土地の所有権を認め、地価の3パーセントを地租として現金で納めさせた。 | 2. 地券を発行して土地の所有権を認め、地価の3パーセントを地租として現金で納めさせた。 | 3. 地券を発行して土地の所有権を認め、収穫高の3パーセントを地租として米で納めさせた。 | 4. 検地帳を作成して土地の所有権を認め、収穫高の3パーセントを地租として米で納めさせた。 |
|---|--|--|---|
- 問7 1873年に始まった地租改正は、それまでの収穫高に応じた年貢に代わり、地価を基準に一定の税率を現金で納税させるものでした。しかし、この改革は農民にとって非常に重い負担であったため、各地で激しい反対一揆が起こりました。こうした情勢を受け、明治政府が1877年に実施した具体的な措置として正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 地価の3%としていた税率を2.5%に引き下げた | 2. 課税の基準を地価から再び収穫高（作物の量）に戻した | 3. 年貢の割合を江戸時代のような「四公六民」に固定した | 4. 農民が民間から借りていた借金をすべて政府が肩代わりした |
|----------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
- 問8 津田梅子ら女子留学生が同行した岩倉使節団の派遣について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること | 2. 鎖国体制を維持するために、外国船を撃退するための軍事技術を秘密裏に導入すること | 3. 大正デモクラシーの風潮の中で、普通選挙法の制定に向けた欧米の選挙制度を調査すること | 4. 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約を締結し、領土問題を解決すること |
|--|--|--|--|
- 問9 岩倉使節団の派遣が、その後の日本の近代化に与えた影響や背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 欧米との実力差を痛感したことで、帰国後、内政の整備を優先すべきであるという考えが強まった | 2. 欧米の共和制を目の当たりにしたことで、天皇を中心とする政治体制を即座に廃止した | 3. 不平等条約の改正にその場で成功したため、帰国後は対外的な軍事拡大に専念した | 4. 視察の結果、欧米の制度は日本には適さないと判断し、再び鎖国体制へと戻ることを決定した |
|---|--|--|---|
- 問10 長州藩が薩摩藩と結んだ「薩長同盟」の背景や、その後の動きについての説明として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 天皇を中心とする新しい政治体制を築くため、対立していた藩同士が手を結び、倒幕運動を推進した。 | 2. 外国の勢力を排除する攘夷を完遂するため、沿岸部の防備を固めて幕府への忠誠を誓った。 | 3. 江戸幕府の権威を回復させるため、有力な藩が協力して公武合体運動を支えた。 | 4. 貿易の利権を独占するために、幕府の許可を得て長崎などの開港場を共同で管理した。 |
|---|--|---|--|
- 問11 江戸時代までは、天皇の即位だけでなく、災害や吉兆などの理由によって頻繁に「元号」が変更されていました。しかし、明治政府が近代国家の形成を目指す中で確立した、元号の運用に関する原則を何と呼びますか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 一世一元の制 | 2. 廃藩置県の制 | 3. 版籍奉還の制 | 4. 大政奉還の制 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
- 問12 自由民権運動の高まりを受け、国会開設の詔が出された後の1880年代前半、イギリス流の議院内閣制を理想として大隈重信が結成した政党はどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|--------|
| 1. 立憲改進黨 | 2. 日本社会党 | 3. 立憲友友会 | 4. 自由党 |
|----------|----------|----------|--------|
- 問13 明治初期の政治改革において、旧藩主から土地と人民を天皇に返還させた「版籍奉還」が行われた目的と、その後の1885年に伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任した出来事の説明として、正しい組み合わせはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 藩を廃止して県を置くための一時的な改革 — 自由民権運動を抑えるための内閣制度の創設 | 2. 武士の特権を廃止して平等な社会を作るための改革 — 議会政治を開始するための大日本帝国憲法の発布 | 3. 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設 | 4. 土地の所有権を認めて税制を安定させるための改革 — 外国との不平等条約を改正するための内閣制度の創設 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 軍勢力を強め、経済を発展させて欧米に並ぶ国力をつけるため	当時の日本は、欧米列強による植民地化の脅威にさらされていました。これを防ぐには、徴兵令によって近代的な軍隊を組織し、学制によって近代産業を支える国民を育成する必要がありますでしたが、地租改正によって土地の所有者が「地価」の3%（のちに2.5%）を「現金（貨幣）」で直接納める仕組みへと大きく転換されました。
問2	答え 1 土地の所有者が、地価を基準とした一定額の現金を納めるようになった。	明治政府は、国家財政を安定させるために地租改正を実施しました。江戸時代までの年貢は、その年の収穫量に応じて「米」を納める物納（物納制）であり、村がまとめて納める仕組みでしたが、地租改正によって土地の所有者が「地価」の3%（のちに2.5%）を「現金（貨幣）」で直接納める仕組みへと大きく転換されました。
問3	答え 2 安定した財政基盤を築くために地租を主軸としたが、産業の発展に伴い他の税収が増えたため。	明治政府は発足直後、近代化政策を推進するための莫大な資金を必要としていました。そのため、最も確実で大きな財源であった土地に着目し、地租改正によって安定した現金収入を確保しました。その後、日本の近代化が進み、商業や工業が発展するにつれて、酒税や所得税といった他の税収が増加したため、政府の総収入における地租の割合は相対的に低くなっていきました。
問4	答え 1 文明開化	明治政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、西洋の進んだ技術や制度だけでなく、文化や生活様式も積極的に取り入れました。これにより、建築・衣服・食事といった人々の日常生活が急速に西洋化しました。こうした現象は、当時の知識人である福沢諭吉らが紹介した西洋思想の影響もあり、広く社会に浸透しました。
問5	答え 4 欧米諸国と共通の基準を導入することで、近代国家としての体裁を整えるため	明治維新期の改革は、欧米の先進的な制度を取り入れることで日本が近代国家であることを内外に示し、不平等条約の改正などを有利に進める狙いがありました。暦の改正は「文明開化」の象徴的な出来事の一つであり、国際的な基準に合わせることで外交や貿易、交通の利便性を高める目的がありました。また、当時の政府にとっては、旧暦のままでは必要だった「閏月（うるうづき）」による余分な月給の支払いを回避できるという財政上の利点も背景にありました。
問6	答え 2 地券を発行して土地の所有権を認め、地価の3パーセントを地租として現金で納めさせた。	明治政府は地租改正を行うにあたり、土地の所有者を確認するために「地券」を発行しました。この地券には土地の所有者名、地価、そして地価の3パーセント（反対一揆を受け、のちに2.5パーセントに引き下げ）にあたる地租の額が明記されていました。これにより、それまでの曖昧だった土地の私的所有権が法的に確立されるとともに、土地を基準とした近代的な税制への移行が行われました。
問7	答え 1 地価の3%としていた税率を2.5%に引き下げた	明治政府は当初、財政を安定させるために地価の3%を地租として現金で徴収しようとしたましたが、これは江戸時代の年貢に匹敵する重い負担でした。各地で発生した地租改正反対一揆や、士族による反乱（士族授産の不満など）が重なる中、政府は農民の不満を和らげるために、1877年に税率を地価の2.5%へ引き下げる決断を下しました。
問8	答え 1 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること	岩倉使節団は、岩倉具視を全権大使とし、木戸孝允、大久保利通、伊藤博文といった政府の有力者が参加した大規模な使節団でした。最大の目的は江戸時代に結ばれた不平等条約の改正交渉でしたが、当時の日本にはまだ近代的な法整備が整っていなかったため交渉は難航しました。一方で、欧米の政治、産業、教育などを直接視察したことは、その後の日本の近代化（文明開化）に極めて大きな影響を与えました。
問9	答え 1 欧米との実力差を痛感したことで、帰国後、内政の整備を優先すべきであるという考えが強まった	使節団は不平等条約の改正交渉自体には難航し、すぐには目的を達成できませんでしたが、欧米諸国の圧倒的な国力を目の当たりにしました。これにより、まずは日本国内の産業を育て、制度を整えて国力を高めることが先決であるという「内治優先」の考え方が政府内で主流となりました。
問10	答え 1 天皇を中心とする新しい政治体制を築くため、対立していた藩同士が手を結び、倒幕運動を推進した。	長州藩は当初、外国を武力で排斥する攘夷を主張していましたが、イギリスなどの四国艦隊下関砲撃事件での敗北を経て、近代化と倒幕の必要性を認識しました。土佐藩の坂本龍馬らの仲介によって、それまで対立していた薩摩藩と同盟を結ぶことで、武力による倒幕と天皇を中心とした新政府の樹立を目指す道筋が作られました。
問11	答え 1 一世一元の制	明治時代に入ると、天皇中心の国家体制を整えるため、それまでの頻繁な改元を廃止しました。一人の天皇の在位期間中は一つの元号のみを用いるというこの仕組みは、時間の管理を国家が統一し、天皇の治世と時代を強く結びつける役割を果たしました。他の選択肢は、江戸幕府から政権を返したことや、土地・人民、地方統治機構の改革を指す用語です。
問12	答え 1 立憲改進黨	1881年の明治十四年の政変で政府を去った大隈重信は、翌年に都市の実業家や知識層を中心とした立憲改進黨を結成しました。一方、板垣退助はフランスの思想に影響を受け、農村部を基盤とする自由党を結成しており、それぞれが目指す近代国家像には違いがありました。立憲政友会は1900年に伊藤博文によって結成された政党であるため、時期が異なります。
問13	答え 3 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革— 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設	1869年の版籍奉還は、土地と人民を朝廷に返すことで中央集権体制を確立する狙いがありました。一方、1885年の内閣制度の創設は、憲法の発布や国会の開設に備えて、効率的な行政運営を行うために整えられた仕組みです。初代内閣総理大臣には、のちに憲法制定の中心人物となる伊藤博文が就任しました。地租改正（土地の所有権と税制）や廃藩置県（藩の廃止）とは区別して理解する必要があります。

- 問1 明治時代初期、東京の街並みには西洋風のレンガ造りの建物が立ち並び、路上を馬車が行き交うようになりました。また、洋服を着た人々が増え、牛肉を食べる習慣が広まるなど、生活様式が劇的に変化したこの社会現象を何といえますか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 学制 2. 廃藩置県 3. 富国強兵 4. 文明開化
-
- 問2 明治政府の収入の変化をたどると、1875年時点では政府収入の約8割以上を「地租」が占めていましたが、1900年に向けてその割合は徐々に低下していきました。このように初期の政府が地租を重視した理由と、その後の占有率低下の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 不作の年に農民の負担を減らすため地租を廃止し、所得税に一本化したため。 2. 自由民権運動の要求を受け入れ、地租を全国一律で免除する決定を下したため。 3. 安定した財政基盤を築くために地租を主軸としたが、産業の発展に伴い他の税収が増えたため。 4. 江戸時代からの年貢の仕組みを維持した結果、都市部の人口増加に対応できなくなったため
-
- 問3 明治政府が発足直後に示した「五箇条の御誓文」の原文において、「官武一途庶民二至ル迄各其志ヲ遂ゲ人心ヲシテ倦マザラシメンコトヲ要ス」という一節があります。この一文が目指した社会のあり方について、最も適切な説明を選択してください。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
1. 江戸時代の身分制度を厳格に維持し、武士が政治を独占し続けること 2. 役人や武士だけでなく、庶民もそれぞれの志を遂げられるようにすること 3. 旧来の慣習をすべて維持し、急激な社会の変化を避けること 4. 徳川家の政治的影響力を完全に排除し、有力な藩だけで政治を行うこと
-
- 問4 1889年に公布された大日本帝国憲法の草案を作成するにあたり、中心的な役割を果たした人物と、彼が最も参考にした国の憲法の組み合わせとして適切なものを選択してください。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 大隈重信がイギリスの憲法を参考にした 2. 板垣退助がフランスの憲法を参考にした 3. 伊藤博文がドイツ（プロイセン）の憲法を参考にした 4. 木戸孝允がアメリカの憲法を参考にした
-
- 問5 明治時代初期の日本において、政府が「富国強兵」や「殖産興業」といった政策を強力に推進し、近代化を急いだ理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 欧米列強に対抗できる国力をつけ、独立を維持し植民地化を避けるため 2. 白村江の戦い以来続いている伝統的な防衛体制を現代化するため 3. 鎖国体制をより強固なものにし、外国の影響を一切排除するため 4. 冷戦下の国際秩序において、周辺諸国との軍事バランスを保つため
-
- 問6 明治政府が実施した地租改正において、それまでの江戸時代の年貢の納め方と比較して、税の基準と納入方法がどのように変更されたか、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 土地の価格を基準とし、現金で納めるように変更された。 2. 収穫高を基準とし、米で納めるように変更された。 3. 土地の面積を基準とし、米で納めるように変更された。 4. 収穫高を基準とし、現金で納めるように変更された。
-
- 問7 明治初期から中期にかけての政治的な動きについて、1868年の新政府の方針発布から、その後の政府内の対立、そして政党の結成に至るまでを時系列で正しく並べたものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 五箇条の御誓文の発布 → 征韓論をめぐる政府内の対立 → 自由党の結成 2. 五箇条の御誓文の発布 → 自由党の結成 → 征韓論をめぐる政府内の対立 3. 自由党の結成 → 五箇条の御誓文の発布 → 征韓論をめぐる政府内の対立 4. 征韓論をめぐる政府内の対立 → 五箇条の御誓文の発布 → 自由党の結成
-
- 問8 明治政府が地租改正において、税の納め方を「米」から「現金」に変更し、基準を「収穫量」ではなく「地価」とした最大の理由は何ですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 徴兵令の実施に伴い、農民に武器を購入する資金を準備させるため。 2. 欧米諸国からの要求に応じ、輸用の米を政府が直接管理しやすくするため。 3. 天候や米の価格変動に左右されず、政府が安定した予算を立てられるようにするため。 4. 農村での貨幣経済の普及を遅らせ、伝統的な農業形態を維持させるため。
-
- 問9 明治政府が「殖産興業」政策の一環として、1872年に群馬県に設置した官営模範工場の名称を次の中から選びなさい。なお、この工場は最新の西洋技術を導入し、日本の主要な輸出品であった製品の品質向上を目指して作られたものです。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 富岡製糸場 2. 八幡製鉄所 3. 足尾銅山 4. 長崎造船所
-
- 問10 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した最大の理由は何ですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。 2. 江戸時代の徴税制度をそのまま引き継ぐことで、農村の混乱を避けるため。 3. 現金の流通を抑えることで、インフレーションを防止し物価を安定させるため。 4. 農民の税負担を大幅に減らし、自由な経済活動を促進するため。
-
- 問11 明治維新が行われた後の1868年から1880年までの期間、日本は近代国家としての基盤を整えるためにさまざまな改革を短期間で進めました。この期間の出来事として誤っているものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。 2. 新橋と横浜の間で、日本初の鉄道が開通した。 3. 満20歳になった男子に兵役の義務を課す「徴兵令」が布告された。 4. 6歳以上の男女が小学校で教育を受けることを義務づける「学制」が公布された。
-
- 問12 明治政府が地租改正を行い、税の基準をそれまでの「収穫量」から「地価」に変更した最大の目的は何ですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 土地の売買を禁止し、すべての土地を政府の直接管理下に置くため 2. 農民の税負担を大幅に軽減し、生活を安定させるため 3. 江戸時代からの慣習であった物納を継続し、米の流通を守るため 4. 豊凶にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため
-
- 問13 明治初期の統計資料において、日本の総人口が約3,313万人であったことが記録された1872年の戸籍編纂と、その翌年に出された法令の関係について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 戸籍に登録された全国の男子のうち、一定の納税額を満たす者だけに軍事訓練への参加を義務づけた。 2. 戸籍によって武士の家系を特定することで、旧来の武士階級のみを対象とした近代的な志願兵制度を確立した。 3. 人口調査の結果に基づき、食糧不足を解消するために満20歳以上の男女を海外へ送る動労動員を開始した。 4. 戸籍によって対象者を把握することで、身分に関わらず満20歳になった男子に兵役の義務を課すことが可能になった。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 文明開化	明治政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、西洋の進んだ技術や制度だけでなく、文化や生活様式も積極的に取り入れました。これにより、建築・衣服・食事といった人々の日常生活が急速に西洋化しました。こうした現象は、当時の知識人である福沢諭吉らが紹介した西洋思想の影響もあり、広く社会に浸透しました。
問2	答え 3 安定した財政基盤を築くために地租を主軸としたが、産業の発展に伴い他の税収が増えたため。	明治政府は発足直後、近代化政策を推進するための莫大な資金を必要としていました。そのため、最も確実に大きな財源であった土地に着目し、地租改正によって安定した現金収入を確保しました。その後、日本の近代化が進み、商業や工業が発展するにつれて、酒税や所得税といった他の税収が増加したため、政府の総収入における地租の割合は相対的に低くなっていきました。
問3	答え 2 役人や武士だけでなく、庶民もそれぞれの志を遂げられるようにすること	この記述は、身分に関わらずすべての国民が意欲を持って活動できる社会を目指したものです。江戸時代の固定的な身分制度を打破し、国民の力を結集して近代化を進めようとする意図があり、後の四民平等などの改革につながる考え方が示されています。
問4	答え 3 伊藤博文がドイツ（プロイセン）の憲法を参考にした	初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文は、君主権の強いドイツ（プロイセン）の憲法を調査・研究し、日本の国情に合わせた憲法草案を作成しました。自由民権運動による憲法制定の要求が高まる中、政府は天皇主権の体制を維持するために、強力な権限を持つプロイセン式のモデルを採用しました。
問5	答え 1 欧米列強に対抗できる国力をつけ、独立を維持し植民地化を避けるため	近代の始まりにおいて、日本は欧米諸国によるアジア進出という大きな波にさらされていました。先行して植民地化された他のアジア諸国の二の舞を避けるためには、西洋の技術や制度を取り入れて国力を高め、国際的に対等な立場を築く必要がありました。この「独立の維持」という切実な目的が、日本を急速な近代化へと突き動かしました。
問6	答え 1 土地の価格を基準とし、現金で納めるように変更された。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は「収穫高」に応じた「物納（米など）」であったため、豊作や凶作によって政府の収入が変動していましたが、土地の所有者に「地価」に応じた「現金」を納めさせる仕組みに改めることで、天候に左右されない安定した財政基盤を確立しようとしたのです。
問7	答え 1 五箇条の御誓文の発布 → 征韓論をめぐる政府内の対立 → 自由党の結成	明治政府は1868年に五箇条の御誓文を出し、広く会議を興して公論に基づき政治を行う方針を示しました。その後、1873年に武力で朝鮮に開国を迫るべきとする征韓論めぐって政府内で激しい対立が起こり、敗れた板垣退助らが下野しました。彼らは後に民権議院設立建白書を提出して自由民権運動を展開し、1881年に日本初の本格的な政党である自由党を結成しました。
問8	答え 3 天候や米の価格変動に左右されず、政府が安定した予算を立てられるようにするため。	江戸時代の年貢（米納）は、その年の収穫量や米の市場価格によって政府の収入が大きく変動するという欠点がありました。近代化を進める明治政府にとって、軍隊の整備や産業の育成（殖産興業）には計画的な予算編成が不可欠でした。そのため、土地の価値（地価）に基づいた一定額の現金を徴収することで、作柄に関わらず毎年決まった額の税収を確保できる仕組みを整えたのです。これが地租改正の最も重要な目的でした。
問9	答え 1 富岡製糸場	明治政府は、欧米諸国に対抗できる国力をつけるために産業を育成する「殖産興業」を推進しました。当時、生糸は日本の輸出額の多くを占める重要な品目でしたが、品質のばらつきが課題でした。そこで、フランスの技術を取り入れた模範的な工場を国営で設立し、全国にその技術を普及させることを目的としました。
問10	答え 1 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動したため、政府の収入が天候に左右されて不安定でした。地租改正では、土地の価値である地価を固定し、それを基準に現金で納めさせることで、政府はあらかじめ決まった額の税収を確実に得ることができるようになりました。
問11	答え 1 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。	明治初期の社会改革では、1872年の学制公布、1873年の徴兵令布告、1872年の鉄道開通などが相次いで行われ、近代化の基盤が作られました。一方、内閣制度の創設は1885年であり、大日本帝国憲法の発布（1889年）に向けた政治体制の整備が進む、より後の時期の出来事です。
問12	答え 4 豊凶にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため	収穫量を基準とする従来の制度では、不作の年に政府の収入が激減し、近代国家の建設に必要な予算が立てにくいという課題がありました。税率を土地の価格（地価）に対して固定し、現金で納めさせることで、政府は毎年の収入を一定に保ち、安定した国家予算を確保しようとしたのです。
問13	答え 4 戸籍によって対象者を把握することで、身分に関わらず満20歳になった男子に兵役の義務を課すことが可能になった。	それまでの江戸時代は武士が戦いを担っていましたが、明治政府は国民皆兵（国民全員が兵士になること）を目指しました。1872年の戸籍編纂によって全国の国民一人ひとりの年齢や居住地が明確になったことで、翌年に発布された法令に基づき、公平に兵役を割り当てることが可能になりました。これは「四民平等」の考え方を軍事面で適用したものであります。

- 問1 1873年に政府内で起こった征韓論をめぐる対立と、その後の自由民権運動へのつながりについて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 征韓論をきっかけに政府を離れた人々は、五箇条の御誓文を廃止し、江戸時代のような幕府政治への復帰を求める運動を始めた。 | 2. 征韓論の対立で敗れた勢力は、直ちに軍隊を組織して政府への武力抵抗である西南戦争を引き起こし、自由党を壊滅させた。 | 3. 征韓論を主張して政府を去った板垣退助らは、藩閥による専制政治を批判し、議会の開設を求める運動を始めた。 | 4. 征韓論に反対した大久保利通らが政府を離れ、欧米の政治制度を取り入れるために自由党を組織した。 |
|---|---|--|---|
-
- 問2 1871年に実施された廃藩置県により、明治政府は中央集権体制を確立しようとしてしました。この際、新たに設置された府や県を統治するために行われた措置として正しいものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 各府県の住民による直接選挙を実施し、公選によって選ばれた代表者に統治を任せた。 | 2. 旧藩主をそのまま知事として世襲させ、各地域独自の法律による統治を認めた。 | 3. 地方の有力な士族の中から話し合いで選出された人物を、臨時の地方官に任命した。 | 4. 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。 |
|--|---|---|--|
-
- 問3 1872年に公布された「学制」の目的や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 個人の尊厳を重んじ、民主的な社会の形成者として必要な教育の基本を定めるために制定された。 | 2. 授業料をすべて国費でまかない、国民に金銭的な負担を一切かけずに義務教育を普及させようとした。 | 3. 天皇に対する忠誠や道徳の基準を示し、国民としての精神的な柱を確立することを主目的とした。 | 4. 身分や性別による区別をなくし、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。 |
|---|---|---|---|
-
- 問4 明治時代初期、政府が推進した近代化政策によって人々の生活や社会の様子が大きく変化しました。当時の「文明開化」や「富国強兵」の様子について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 都市部を中心にガス灯やランプが普及し、レンガ造りの建物が建てられるなど、欧米の生活様式が取り入れられた | 2. 江戸時代からの伝統を守るため、新政府は西洋風の建築や新しい技術の導入を厳しく制限した | 3. 鉄道の開通を拒み、飛脚や馬車による伝統的な通信・交通網を全国で強化した | 4. すべての国民に兵役の義務を課す一方で、武士の特権であった帯刀や苗字の特権を維持させた |
|--|---|--|---|
-
- 問5 明治新政府が、それまでの太陰太陽暦を廃止して太陽暦を採用した背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 藩ごとに異なっていた独自の暦を統一することで、中央集権的な軍事動員を容易にするため | 2. 古くから伝わる干支や暦の習慣を全国一律に禁止し、キリスト教を国教化するため | 3. 農業生産を向上させるために、月の満ち欠けに基づいた農作業の伝統を保護するため | 4. 欧米諸国と共通の基準を導入することで、近代国家としての体裁を整えるため |
|--|--|---|--|
-
- 問6 明治政府が岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国へ派遣した使節団の、主な目的と活動内容を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 日英同盟の締結に向けた軍事的な協力関係の構築と、最新兵器の導入検討 | 2. 開国を求める欧米諸国に対し、鎖国制度の維持を継続するための外交交渉 | 3. 下関条約の調印に向けた清との和平交渉と、領土割譲に関する最終確認 | 4. 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉と、先進的な制度や文化の視察 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
-
- 問7 九州地方の南端に位置する鹿児島県を拠点とし、かつて新政府の要職にありながら、朝鮮への開国を武力で迫る「征韓論」を巡る対立で下野した人物が指導者となった出来事について、正しい人物名と名称の組み合わせを選びなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 板垣退助 — 自由民権運動 | 2. 大久保利通 — 廃藩置県 | 3. 西郷隆盛 — 西南戦争 | 4. 江藤新平 — 佐賀の乱 |
|------------------|-----------------|----------------|----------------|
-
- 問8 井原西鶴や近松門左衛門が活躍した時代は、当時の元号から「元禄文化」と呼ばれます。しかし、明治時代になると元号の制度が大きく変わり、現代まで続く運用のルールが定められました。明治以降の元号の決め方について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 朝廷が授ける「官位」の名称そのまま元号として用いるようになった | 2. 天皇一人の在位期間中、元号を一つに限定するようになった | 3. 亡くなった天皇を称える「諡（おくりな）」を、そのまま存命中の元号とした | 4. 優れた功績を挙げた政治家の「姓名」から元号を選ぶようになった |
|------------------------------------|--------------------------------|--|-----------------------------------|
-
- 問9 1873年から実施された地租改正において、それまでの年貢（租税）の制度と大きく異なる点として正しい説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 村全体で一括して税を納める仕組みを廃止し、収穫量の3パーセントを基準として米で納めるようになった。 | 2. 身分によって税率が異なる仕組みを廃止し、全ての国民が所有する農具や家屋の数に応じて現金で納めるようになった。 | 3. 土地の面積のみを基準とする仕組みに変わり、収穫した米を直接政府へ納める物納の制度が強化された。 | 4. 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。 |
|--|---|--|--|
-
- 問10 明治維新における三大改革の一つとして、1872年に出された「学制」が果たした役割や特徴について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|---|
| 1. 戦時下において国民の生活や労働力を政府が統制し、戦争遂行を優先させた | 2. 一定の年齢に達した男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織しようとした | 3. 25歳以上のすべての男子に選挙権を認め、議会政治の基盤を整えようとした | 4. すべての国民に教育を受けさせることで、近代社会を支える国民を育成しようとした |
|---------------------------------------|---|--|---|
-
- 問11 新橋・横浜間の鉄道が開通した1872年に、政府が公布した「学制」の内容や方針として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 国家が教育費のすべてを負担し、教科書を無償で配布することを決定した | 2. 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した | 3. 天皇への忠誠や愛国心を育てることを教育の最優先事項として定めた | 4. 各藩が運営していた藩校をそのまま存続させ、士族の英才教育を強化した |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問12 1868年に日本で明治維新が始まった時期に、世界で起こっていた主な出来事として、時期が最も近いものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. 南北戦争 | 2. アヘン戦争 | 3. ロシア革命 | 4. フランス革命 |
|---------|----------|----------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 征韓論を主張して政府を去った板垣退助らは、藩閥による専制政治を批判し、議会の開設を求める運動を始めた。	征韓論をめぐる対立（明治六年の政変）で政府を去った板垣退助や後藤象二郎らは、一部の有力な藩出身者が権力を独占する「有司専制（藩閥政治）」を批判しました。彼らは言論によって政府を動かそうと考え、民撰議院設立建白書を提出したことが自由民権運動の始まりとなりました。この流れの中で、板垣を党首とする自由党などの政党が結成されました。
問2	答え 4 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。	明治政府は、それまでの藩を廃止して府と県を置く「廃藩置県」を断行しました。これに伴い、旧藩主が地方を治める仕組みを改め、政府が直接任命した官吏である「府知事」や「県令」を中央から派遣することで、全国の情報を政府が把握し、命令を直接行き渡らせる中央集権的な統治体制を築きました。なお、住民による直接選挙（公選知事）が導入されるのは、第二次世界大戦後の日本国憲法下の改革を待つことになります。
問3	答え 4 身分や性別による区別をなくし、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。	学制は、それまでの身分に応じた教育ではなく、個人の立身出世が国家の発展につながるという考え方（実学重視）に基づき、すべての子供に教育の機会を与えようとしてしました。なお、当時の授業料は家族の負担であったため、生活の苦しさから反対一揆が起こることもありました。天皇への忠誠を強調したのは1890年の教育勅語、個人の尊厳を掲げたのは1947年の教育基本法です。
問4	答え 1 都市部を中心にガス灯やランプが普及し、レンガ造りの建物が建てられるなど、欧米の生活様式が取り入れられた	明治政府は欧米の進んだ技術や制度を積極的に導入しました。これを文明開化と呼び、都市部ではガス灯の設置やレンガ造りの建築といった外見上の変化だけでなく、太陽暦の採用や教育制度（学制）の整備、徴兵令による富国強兵など、社会の仕組みそのものが大きく変化しました。
問5	答え 4 欧米諸国と共通の基準を導入することで、近代国家としての体裁を整えるため	明治維新期の改革は、欧米の先進的な制度を取り入れることで日本が近代国家であることを内外に示し、不平等条約の改正などを有利に進める狙いがありました。暦の改正は「文明開化」の象徴的な出来事の一つであり、国際的な基準に合わせることで外交や貿易、交通の利便性を高める目的がありました。また、当時の政府にとっては、旧暦のままでは必要だった「閏月（うるづき）」による余分な月給の支払いを回避できるという財政上の利点も背景にありました。
問6	答え 4 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉と、先進的な制度や文化の視察	岩倉使節団は、明治政府が直面していた江戸時代の不平等条約の改正を大きな目標として掲げていました。交渉自体は日本の法整備が不十分であることを理由に難航しましたが、欧米の政治、経済、教育などの進んだ実態を直接視察したことは、その後の日本の近代化（文明開化）に極めて大きな影響を与えました。
問7	答え 3 西郷隆盛 — 西南戦争	征韓論に敗れて鹿児島へ帰郷していた西郷隆盛が、私学校の生徒らに推される形で政府軍と戦いました。日本全図において九州の南部に位置する鹿児島がこの反乱の拠点となりました。
問8	答え 2 天皇一人の在位期間中、元号を一つに限定するようになった	江戸時代までの日本では、大きな火災や飢饉などの厄払いや、おめでたい出来事を理由に、天皇が交代しなくても元号を変えることが一般的でした。明治政府はこの慣習を改め、明治という元号を天皇の生涯にわたって継続させる「一世一元の制」を採用しました。これにより、元号が単なる年数のカウントではなく、特定の天皇の治世を示す象徴としての意味を強めることになりました。
問9	答え 4 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動する「米による物納」でしたが、この改革によって、土地の価格である「地価」を課税基準とし、天候などの影響を受けない「現金による金納」へと改められました。これにより、政府は毎年の予算を立てやすくなりました。
問10	答え 4 すべての国民に教育を受けさせることで、近代社会を支える国民を育成しようとした	明治政府は、フランスの教育制度などを参考に学制を定めました。「必ず邑（むら）に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理想を掲げ、個人の能力を引き出すことが国力の向上に直結すると考えたためです。選択肢にある兵役に関するものは徴兵令、25歳以上の男子への選挙権は普通選挙法、戦時下の統制は国家総動員法に関する記述です。
問11	答え 2 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した	学制は「村に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理念のもと、国民全員に教育を普及させようとしたものです。これは富国強兵や殖産興業を支える人材を育成する目的がありました。当時はまだ授業料が家庭負担であったため、生活が苦しい農民などによる反対運動も起こりましたが、近代化の重要な一歩となりました。
問12	答え 1 南北戦争	アメリカ合衆国で奴隷制や貿易政策をめぐる起こった南北戦争は1861年から1865年の出来事であり、日本の明治維新（1868年）とほぼ同時期です。フランス革命は18世紀末（1789年～）、アヘン戦争は1840年、ロシア革命は20世紀初頭（1917年）であり、それぞれ時期が異なります。

- 問1 1873年に始まった地租改正では、当初、地租の税率は地価の3パーセントと定められていました。しかし、1877年に政府はこの税率を2.5パーセントに引き下げました。この措置が取られた政治的な背景として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- 徴兵令の施行によって農村の労働力が減少したため、その補償として税負担を軽減し、農業生産力を維持することが目的であった。
 - 欧米視察から帰国した岩倉使節団が、諸外国の税率に合わせるよう提言したため、国際基準に基づき税率の調整が行われた。
 - 納税方法を従来の物納から金納へと変更したことで、政府の税収が予想を大幅に上回ったため、余剰分を国民に還元することにした。
 - 地租改正に反対する農民一揆が各地で激化し、さらに不平士族の反乱も重なったため、国民の不满を和らげて政府の基盤を安定させる必要があった。
- 問2 明治維新後の日本において、福沢諭吉が『学問のすゝめ』を著し、広く読まれた背景や理由として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- 地租改正によって農民の負担が増したため、生活を豊かにするための農業技術に関する知識が求められていたから。
 - 大日本帝国憲法の発布を控え、政府が国民に対して西洋の法律や政治の仕組みを強制的に学習させる必要があったから。
 - 廃藩置県によって失業した士族たちが、武士の精神を維持するための心の拠り所として啓蒙書を求めているから。
 - 四民平等が宣言されたものの、人々の間には依然として古い身分意識が残っており、近代国家にふさわしい個人の意識改革が必要だったから。
- 問3 自由民権運動の高まりを受け、国会開設の詔が出された後の1880年代前半、イギリス流の議院内閣制を理想として大隈重信が結成した政党はどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
- 立憲政友会
 - 立憲改進黨
 - 自由党
 - 日本社会党
- 問4 明治政府が土地所有者に地券を発行し、地価の3% (のちに2.5%) を現金で徴収する制度を整えた主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- 封建的な土地所有を維持し、旧大名たちが引き続き領地を統治しやすいするため。
 - 政府の収入を豊作や不作に関わらず一定にし、国家財政を安定させるため。
 - 土地の売買を禁止し、農民が土地を失って都市へ流入するのを防ぐため。
 - 土地の所有権を政府が独占し、農民から耕作の権利を取り上げるため。
- 問5 1868年から1869年にかけて行われた戊辰戦争の経過について述べた次の文のうち、その終結に至るまでの説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- 五街道の起点であり政治の中心地であった江戸において、江戸城が無血開城された時点で戦争の全行程が完了した。
 - 鳥羽・伏見の戦いに始まった戦いは、最終的に北海道の五稜郭に拠点を置いた旧幕府軍が降伏したことで終結した。
 - 「天下の台所」と呼ばれた大坂にある大阪城が落城したことをもって、新政府軍に対する旧幕府軍の抵抗はすべて終了した。
 - 琵琶湖のほとりに築かれた安土城が戦いの舞台となり、新政府軍が旧幕府軍を完全に圧倒したことで戦争が終結した。
- 問6 1871年に明治政府が行った廃藩置県の説明として、その目的と社会への影響を正しく述べたものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
- 各地の藩主に引き続き領地の統治権を認め、武士の身分や特権を維持することで、地方の政治を安定させようとした。
 - 地方に政府から府知事や県令を派遣して中央集権体制を確立し、学制や徴兵令などの近代化政策を進める土台とした。
 - 封建的な統治体制をさらに強化し、各藩が独自に徴税や軍隊の整備を自由に行えるようにして、地方分権を推進した。
 - 鎖国政策を継続するために、沿岸部の各県に強力な軍事権限を与えて、外国船の排除を徹底させる仕組みを整えた。
- 問7 明治政府は、欧米の進んだ技術や学問を導入して日本の近代化を急ぐため、国家予算の多くを割いて高い給与で外国人を招きました。近代産業の育成や教育、文化の発展に大きく貢献したこれらの人々の総称として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- 遣隋使
 - 渡来人
 - 南蛮人
 - お雇い外国人
- 問8 日本の近代外交史において、1873年に朝鮮への使節派遣をめぐる征韓論の争いに敗れて政府を去り、その後故郷の鹿児島を中心として活動した人物は誰か。 (2024年 青森県公立入試 類似)
- 板垣退助
 - 西郷隆盛
 - 大久保利通
 - 木戸孝允
- 問9 明治政府が廃藩置県などの改革を通じて、地方の権限を中央政府へ集中させた目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- 地方ごとに独自の法律や通貨を認め、各地域の特色を活かした経済発展を促すこと
 - 各地の旧藩主に引き続き地方統治を任せることで、新政府への反発を抑えること
 - 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること
 - 住民が選挙によって知事を選べるようにし、地方自治の仕組みを早期に確立すること
- 問10 明治政府が「学制」を公布し、義務教育の普及を急いだ背景にある、当時の政府の目的として最も適切なものを選択してください。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- 伝統的な寺子屋の教育内容を全国に広め、封建的な身分制度をより強固にするため。
 - 近代化を支える人材を育成し、富国強兵を実現することで欧米列強に並ぶ国力をつけるため。
 - 海外への移民を推奨するために、外国語教育を全国の小学校で必須とするため。
 - 国家総動員法を制定し、戦争に必要な物資や労働力を国民から効率的に徴収するため。
- 問11 岩倉具視や大久保利通らが全権大使として欧米を訪問した際、各国の制度や文化の視察とともに目指していた、外交上の最優先課題は何か。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- 日米和親条約の調印
 - 沖縄の返還
 - パリ講和会議への出席
 - 不平等条約の改正
- 問12 明治政府は、近代的な国家運営のための安定した税収を確保することを目的として、地租改正を実施しました。この際、政府が土地の価格(地価)を定め、その所有権を正式に認めるために土地所有者へ発行した証書を何といいますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- 口分田
 - 検地帳
 - 惣
 - 地券
- 問13 明治政府は、近代的な軍事制度を確立するために「国民皆兵」の原則を掲げました。1873年に issuance、満20歳になった男子に身分に関係なく3年間の軍務を義務づけた法令の名称を答えなさい。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- 徴兵令
 - 廃刀令
 - 地租改正
 - 学制

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地租改正に反対する農民一揆が各地で激化し、さらに不平士族の反乱も重なったため、国民の不満を和らげて政府の基盤を安定させる必要があった。	明治政府が実施した地租改正は、豊作・不作にかかわらず一定の現金を納める制度であったため、農民にとって重い負担となりました。1873年から1876年にかけて各地で大規模な農民一揆が急増し、同時期に特権を奪われた士族による反乱も相次いで発生しました。1877年には最大規模の士族反乱である西南戦争が起こっており、政府はこれら内外の反発を鎮め、政権を維持するために地租を2.5パーセントへ引き下げる決断をしました。
問2	答え 4 四民平等が宣言されたものの、人々の間には依然として古い身分意識が残っており、近代国家にふさわしい個人の意識改革が必要だったから。	明治政府は四民平等の政策を打ち出しましたが、長年続いた封建社会の影響は強く、国民の意識を近代化させる必要がありました。福沢諭吉は、一人ひとりが学問を通じて知性を磨き、独立した精神を持つことが国家の独立にもつなぐと考え、啓蒙活動を行いました。この本がベストセラーとなったのは、新しい時代の生き方を模索していた当時の人々に強く響いたためです。
問3	答え 2 立憲改進黨	1881年の明治十四年の政変で政府を去った大隈重信は、翌年に都市の実業家や知識層を中心とした立憲改進黨を結成しました。一方、板垣退助はフランスの思想に影響を受け、農村部を基盤とする自由党を結成しており、それぞれが目指す近代国家像には違いがありました。立憲政友会は1900年に伊藤博文によって結成された政党であるため、時期が異なります。
問4	答え 2 政府の収入を豊作や不作に関わらず一定にし、国家財政を安定させるため。	明治政府が近代国家としての基盤を固めるためには、軍備の増強や産業の育成（富国強兵・殖産興業）に必要な資金を安定して得る必要がありました。収穫高ではなく地価を基準とした金納制度を導入することで、毎年の予算を立てやすくし、確実な財政運営を行うことが地租改正の大きな目的でした。
問5	答え 2 鳥羽・伏見の戦いに始まった戦いは、最終的に北海道の五稜郭に拠点を置いた旧幕府軍が降伏したことで終結した。	戊辰戦争は1868年、京都での鳥羽・伏見の戦いから始まりました。その後、戦いの舞台は東日本へと移り、江戸の無血開城や東北地方での会津戦争などを経て、最終的には北海道の函館にある五稜郭に立てこもった旧幕府軍が降伏するまで続きました。この五稜郭での戦いが、明治維新に伴う国内最大の内戦の終わりを意味しています。
問6	答え 2 地方に政府から府知事や県令を派遣して中央集権体制を確立し、学制や徴兵令などの近代化政策を進める土台とした。	廃藩置県は、それまで各藩の藩主（知藩事）が持っていた土地と人民の統治権を完全に中央政府が掌握するための改革でした。政府から任命された官吏（府知事・県令）が地方行政を担うことで、全国一律の徴税や徴兵令、教育制度（学制）の導入が可能になり、近代国家としての基盤が固まりました。
問7	答え 4 お雇い外国人	明治政府は「富国強兵」や「殖産興業」をスローガンに掲げ、急速な近代化を図るために欧米から優れた技術者や学者を招きました。彼らは官営模範工場の運営指導、鉄道建設、大学での教育、さらには法令の整備など、多岐にわたる分野で指導的な役割を果たし、日本の発展の基礎を築きました。
問8	答え 2 西郷隆盛	武力を用いてでも朝鮮を開国させようとする征韓論を主張したが、欧米視察から帰国して内治優先を説いた大久保利通や木戸孝允らに反対され、参議を辞職した。同じく下野した板垣退助らが自由民権運動へ向かったのに対し、この人物は鹿児島で私学校を設立し、後に西南戦争を起こした。
問9	答え 3 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること	当時の日本は、欧米列強に対抗できる強い国を作る必要がありました。そのためには、各藩がバラバラに持っていた権力を取り上げ、政府が全国の資源や兵力を直接動かせる体制を築くことが不可欠でした。この体制により、徴兵制や地租改正といった全国共通の制度が実施可能となりました。
問10	答え 2 近代化を支える人材を育成し、富国強兵を実現することで欧米列強に並ぶ国力をつけるため。	明治政府は、日本を近代化させるための政策である「富国強兵」や「殖産興業」を達成するために、国民一人ひとりが新しい知識や技術を身につける必要があると判断しました。そのため、学校教育を通じて国家の発展に寄与する人材を育てることを目指しました。当初は授業料の負担が重く、反対運動が起こるなどの課題もありましたが、段階的に整備が進められました。
問11	答え 4 不平等条約の改正	明治政府にとって、幕末に欧米諸国と結んだ条約における領事裁判権の撤廃や関税自主権の回復は急務であり、岩倉使節団派遣の大きな目的の一つでした。沖縄の返還は戦後の出来事、パリ講和会議は第一次世界大戦後、日米和親条約は幕末の出来事です。
問12	答え 4 地券	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、土地の所有者に地価の3%（後に2.5%）を現金で納めさせる地租改正を行いました。このとき、土地の所有権を法的に証明し、納税の義務を明確にするために「地券」が発行されました。これにより、土地は個人の財産として自由に売買や担保にすることが可能になりました。
問13	答え 1 徴兵令	明治政府が1873年に発布したこの法令は、それまでの武士だけが軍事を担う特権を廃止し、四民平等の理念のもとで国民全員に兵役の義務を課すものでした。これにより、近代的な軍隊の基礎が築かれましたが、農民にとっては貴重な働き手を失う負担増となり、各地で反対一揆が起こる要因ともなりました。

- 問1 1873年（明治6年）に明治政府が実施した地租改正において、税の算定基準と納入方法の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2015年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 土地の耕作者に、地価を基準として米で納めさせた。 | 2. 土地の所有者に、収穫量を基準として現金で納めさせた。 | 3. 土地の所有者に、地価を基準として現金で納めさせた。 | 4. 土地の耕作者に、収穫量を基準として米で納めさせた。 |
|-----------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|
-
- 問2 明治時代初期の教育制度に関する説明として、当時の建築的特徴や制度の背景をふまえたものとして最も適切な記述を選択してください。（2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江戸時代の寺子屋や藩校の教育内容をそのまま継承することを目的とし、伝統的な和風建築による校舎の整備が全国に進められた。 | 2. 天皇に対する忠誠や愛国の精神を教育の基本とするために発布され、全国の学校で道德教育の柱として活用された。 | 3. 「国民皆学」の理念のもとで近代教育が推進され、長野県の旧開智学校のように和洋折衷の「擬洋風建築」を用いた校舎が建設されるなど、近代化の象徴となった。 | 4. 個人の尊厳と真理の探究を目的として戦後に制定され、義務教育の期間を6年から9年に延長することが定められた。 |
|--|---|---|--|
-
- 問3 明治政府が1871年に実施した廃藩置県の制度上の特徴と、その目的について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 各県に大幅な自治権を与え、アメリカのような連邦制の国づくりを目指した。 | 2. 武士の特権を守るために藩の借金を政府が肩代わりし、土族の生活を保障しようとした。 | 3. 中央政府から府知事・県知事を派遣し、全国を直接統治する中央集権体制を確立しようとした。 | 4. 旧藩主をそのまま知事として留任させ、幕藩体制を近代化させることを目的とした。 |
|--|---|--|---|
-
- 問4 日本の近代国家形成の過程において、初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文の経歴や役割を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 土佐藩出身の政治家として、民権運動の建白書を提出し、自由民権運動を組織した。 | 2. 明治政府の初代内務卿として権力を握り、学制や徴兵令、地租改正を主導して富国強兵を進めた。 | 3. 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。 | 4. 天草や神戸など各地の開港を主張し、慶應義塾を創設して『学問のすめ』を著した。 |
|---|---|--|---|
-
- 問5 明治初期の政府内では、日本との正式な国交を拒んでいた朝鮮に対し、武力を用いても開国を迫るべきだとする主張が生まれました。この主張を何といいますか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 征韓論 | 2. 文明開化 | 3. 尊王攘夷 | 4. 地租改正 |
|--------|---------|---------|---------|
-
- 問6 1871年、明治政府はそれまで各地を治めていた藩主（知藩事）を免職にして東京へ集め、代わりに政府が任命した府知事や県令を派遣する改革を行いました。この「廃藩置県」と呼ばれた改革の主な目的は何ですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 日米修好通商条約に基づき、外国人の居住区を全国に広げるため | 2. 中央政府が全国の土地と人民を直接支配する、中央集権体制を確立するため | 3. 各藩の自律性を高め、それぞれの地域で独自の貿易や外交を行わせるため | 4. 徳川家定を再び最高権力者に据え、江戸幕府の体制を再構築するため |
|----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
-
- 問7 岩倉使節団の一員として欧米諸国を視察した大久保利通や木戸孝允らは、帰国後、当時の政府内で高まっていた「朝鮮に兵を送るべきだ」という主張に強く反対しました。大久保らがこの時に示した、日本の近代化を進めるための基本的な考え方はどのようなものですか。（2024年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 武力によって近隣諸国との外交問題を解決し、日本の国威を海外に示すことを最優先する考え方 | 2. 国民の権利を認める憲法を早期に制定し、国会を開議して民意を政治に反映させることを最優先する考え方 | 3. 江戸時代から続く幕藩体制を復活させ、地方の武士による統治を強化して秩序を維持する考え方 | 4. 海外への出兵よりも、地租改正や徴兵令などによる国内の整備と産業の育成を最優先する考え方 |
|--|---|--|--|
-
- 問8 産業革命期のイギリスにおける石炭の役割と社会の変化について述べた文として、当時の状況を正しく説明しているものはどれか。（2022年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 石炭は社会主義的な平等社会を実現するための配給物資として、国によって厳格に管理された | 2. 石炭は蒸気機関の燃料として綿織物の大量生産を可能にしたほか、製鉄や鉄道の動力としても活用された | 3. 石炭は石油に代わる新たな燃料として自動車の普及を支え、都市部での排ガス問題を深刻化させた | 4. 石炭は鉄鉱石の代用品として機械の材料に用いられ、蒸気機関の軽量化と高速化を実現した |
|---|--|---|--|
-
- 問9 明治初期の政治改革において、旧藩主から土地と人民を天皇に返還させた「版籍奉還」が行われた目的と、その後の1885年に伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任した出来事の説明として、正しい組み合わせはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 土地の所有権を認めて税制を安定させるための改革 — 外国との不平等条約を改正するための内閣制度の創設 | 2. 藩を廃止して県を置くための一時的な改革 — 自由民権運動を抑えるための内閣制度の創設 | 3. 武士の特権を廃止して平等な社会を作るための改革 — 議会政治を開始するための大日本帝国憲法の発布 | 4. 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設 |
|---|---|---|--|
-
- 問10 15代将軍徳川慶喜は、倒幕派に政権を武力で奪われるのを避けるため、1867年に政権を朝廷に返上しました。しかし、薩摩藩や長州藩らは徳川家を完全に排除した新政府の樹立を目指しました。このとき、幕府の廃止と天皇を中心とする政治への復帰を宣言したものを何といいますか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 大政奉還 | 2. 版籍奉還 | 3. 五箇条の御誓文 | 4. 王政復古の大号令 |
|---------|---------|------------|-------------|
-
- 問11 明治初期の東京において、人口が一時的に100万人から60万人規模まで減少した現象に関わり、当時の社会制度の変化について述べた文として正しいものはどれですか。（2025年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 武士が特権を失ったため、新たな職業を求めて北海道の開拓に従事する土族授産が東京の全人口の半数に適用された。 | 2. 江戸から東京への改称に伴い、旧幕府に関係していた全ての居住者が都市部から追放される法令が出された。 | 3. 版籍奉還によって土地と人民が天皇に返還された際、東京の住民はすべて強制的に出身地へ帰された。 | 4. 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。 |
|--|--|---|---|
-
- 問12 かつての薩摩藩・長州藩・土佐藩・肥前藩の4藩による連合が発足してから150年を迎えることを記念し、近年ではこれらの地域が連携して広域的な観光プロジェクトを実施しています。この4藩が中心となって江戸幕府を倒したのち、明治政府によって進められた政治・経済・社会の近代化を目指した一連の改革を何といいますか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 明治維新 | 2. 文明開化 | 3. 地租改正 | 4. 殖産興業 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 土地の所有者に、地価を基準として現金で納めさせた。	明治政府は財政を安定させるため、それまでの豊凶によって収める額が変動する仕組みを改めました。土地の価格である地価を基準に定め、その3%（のちに反対一揆を受けて2.5%に減税）を、土地の所有者に現金で納めさせることとしました。これにより、政府は農作物の収穫量や価格の変動に左右されず、計画的に予算を立てることが可能になりました。
問2	答え 3 「国民皆学」の理念のもとで近代教育が推進され、長野県の旧開智学校のように和洋折衷の「擬洋風建築」を用いた校舎が建設されるなど、近代化の象徴となった。	1872年に発布された学制により、日本各地で近代的な教育を受けるための学校建設が進められました。その際、伝統的な日本の大工技術に西洋風のデザインを取り入れた「擬洋風建築」と呼ばれるスタイルの校舎が造られ、長野県の旧開智学校はその代表例として知られています。当初は授業料の負担が重く、反対一揆が起こることもありましたが、政府は国民皆学を強く推し進めました。
問3	答え 3 中央政府から府知事・県知事を派遣し、全国を直接統治する中央集権体制を確立しようとした。	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するため、政府の命令が全国に速やかに行き渡る体制を求めています。廃藩置県によって旧藩主の統治権を完全に取り上げ、政府が任命した官吏（府知事・県知事）を派遣して統治させることで、政治・軍事・租税などの権限を中央政府に集中させる「中央集権化」を成し遂げました。
問4	答え 3 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。	明治初期の地方官としてのキャリアにおいて、兵庫県知事や兵庫運上所の長官を務め、海外との貿易や外交の実務に深く関わりました。この経験が後の条約改正交渉や、近代的な政治制度の構築に活かされています。他の選択肢にある大久保利通（内務卿）や福沢諭吉（慶應義塾創設）、板垣退助（自由民権運動）といった同時代の重要人物と、その具体的な功績や出身を区別して理解することが重要です。
問5	答え 1 征韓論	明治初期、新政府の内部では朝鮮への対応を巡る議論が活発化しました。西郷隆盛や板垣退助らは、武力行使を辞さない構えで開国を求める「征韓論」を主張しましたが、岩倉使節団として欧米を視察し、内政の充実が急務であると痛感した大久保利通らと激しく対立することとなりました。
問6	答え 2 中央政府が全国の土地と人民を直接支配する、中央集権体制を確立するため	廃藩置県によって、各地の旧大名（知藩事）による支配を終わらせ、中央政府が任命した官吏を派遣する仕組みを作りました。これにより、全国の税金や軍事力を政府が一括して管理できるようになり、近代国家としての基盤が整えられました。なお、日米修好通商条約は幕末に結ばれたものであり、明治政府の初期改革とは区別する必要があります。
問7	答え 4 海外への出兵よりも、地租改正や徴兵令などによる国内の整備と産業の育成を最優先する考え方	欧米視察から帰国した大久保利通らは、西洋諸国との圧倒的な国力の差を目の当たりにし、日本が独立を維持するためには外交や対外拡張よりも先に、国内の制度整備や産業育成（富国強兵）を急ぐべきだと判断しました。この「内政優先」の考え方は、当時西郷隆盛らが主張していた征韓論（朝鮮への出兵）との対立を招き、明治六年の政変へとつながりました。
問8	答え 2 石炭は蒸気機関の燃料として綿織物の大量生産を可能にしたほか、製鉄や鉄道の動力としても活用された	石炭は単なる熱源ではなく、産業のあらゆる場面で変革を促すエネルギーでした。まず蒸気機関の燃料として綿織物の生産効率を劇的に高め、次に鉄を作る際の燃料（コークス）として鉄鋼業を支えました。さらに、完成した製品を運ぶための蒸気機関車や蒸気船の動力源としても不可欠であり、生産・加工・流通のすべてを繋ぐ役割を果たしました。
問9	答え 4 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設	1869年の版籍奉還は、土地と人民を朝廷に返すことで中央集権体制を確立する狙いがありました。一方、1885年の内閣制度の創設は、憲法の発布や国会の開設に備えて、効率的な行政運営を行うために整えられた仕組みです。初代内閣総理大臣には、のちに憲法制定の中心人物となる伊藤博文が就任しました。地租改正（土地の所有権と税制）や廃藩置県（藩の廃止）とは区別して理解する必要があります。
問10	答え 4 王政復古の大号令	徳川慶喜が大政奉還を行ったものの、倒幕派は徳川家を政治から完全に排除しようと考え、朝廷を動かして「王政復古の大号令」を出させました。これにより摂政・関白や幕府の廃止が決定し、総裁・議定・参与の三職からなる新しい政府が成立しました。
問11	答え 4 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。	江戸時代の東京（江戸）は、参勤交代制度によって全国の大名やその家臣が集まる政治の中心地として人口が膨れ上がっていました。しかし、明治維新後の廃藩置県によって、それまでの藩という枠組みが消滅し、武士たちは東京に留まる公的な理由を失いました。これにより、多くの武士が家族を連れて自らの領地や故郷へ引き揚げたことが、当時の統計における急激な人口減の直接的な理由です。
問12	答え 1 明治維新	江戸幕府の統治が終わり、天皇を中心とする新政府が発足したのちに行われた日本の近代国家建設に向けた大きな変革を明治維新と呼びます。薩摩（鹿児島）、長州（山口県）、土佐（高知県）、肥前（佐賀県・長崎県）の4藩は、幕府を倒す原動力となったことから「薩長土肥」と呼ばれ、新政府の要職を多くの出身者が占めました。選択肢にある「文明開化」は西洋の文化が流入した風潮を、「地租改正」は土地や税制の改革を指す個別の事象や政策です。

- 問1 当時の主要な輸出製品であった生糸の生産を拡大するため、明治政府は群馬県に富岡製糸場を設立しました。この工場が果たした、近代化における役割として最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 西洋から最新の機械と技術を導入し、そこで学んだ工女たちが各地で指導者となって技術を全国へ普及させた。 | 2. 原料である繭を海外から安く輸入し、それを加工して安価な製品を作ることによって国内の需要を賄った。 | 3. 江戸時代から続く伝統的な手作業による生産方法を維持し、職人の技術を保護することで高級な生糸を生産した。 | 4. 外国の資本を積極的に受け入れ、経営のすべてを外国人に委ねることで、国際基準の製品を安定して輸出した。 |
|---|---|--|---|
- 問2 廃藩置県が行われた際、それまで地方を治めていた知藩事（旧藩主）に代わって、明治政府が地方を統治するために中央から新たに派遣した役職の名称の組み合わせはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 代官・郡代 | 2. 府知事・県令 | 3. 藩王・知事 | 4. 守護・地頭 |
|----------|-----------|----------|----------|
- 問3 1868年、明治新政府は新しい政治の基本方針を天皇が神に誓うという形式で発表しました。この方針の中で、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」として世論を尊重することや、「知識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし」として開国和親の姿勢を示した文書を何といいますか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-------------|---------|--------|
| 1. 五箇条の御誓文 | 2. 王政復古の大号令 | 3. 版籍奉還 | 4. 政体書 |
|------------|-------------|---------|--------|
- 問4 明治時代初期、政府は「文明開化」のスローガンのもと、人々の服装や髪型を西洋風に変え、都市部にレンガ造りの建物を建てるなど、社会の仕組みを大きく変化させました。こうした中、1872年（明治5年）に実施された、それまでの太陰太陽暦を廃止し、西洋諸国と共通の基準を取り入れた改革はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|------------------|-----------|------------------|
| 1. 五街道の整備と宿場町の拡充 | 2. 藩校における伝統教育の強化 | 3. 太陽暦の採用 | 4. 飛脚による通信網の全国整備 |
|------------------|------------------|-----------|------------------|
- 問5 明治初期の地方統治に関する次の記述のうち、廃藩置県の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 土地の価格を基準に、地主に対して現金で税を納めさせる制度を確立した。 | 2. 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。 | 3. 大名が土地と人民を天皇に返還し、自らは知藩事として旧領地を治めた。 | 4. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織した。 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
- 問6 1869年に藩主が土地と人民を天皇に返上した版籍奉還から、1877年の西南戦争に至るまでの改革と社会情勢について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 1869年の版籍奉還によって藩は即座に廃止され、全ての藩主はただちに新政府から罷免されて、地方へ中央政府から知事が派遣されるようになった。 | 2. 版籍奉還の後、国民に納税の義務を課す地租改正が行われ、その直後に廃藩置県が実施されたことで、武士という身分は法的に消滅した。 | 3. 1873年に徴兵令が出され、国民皆兵の原則が示されたが、武士の特権を奪われた士族らの不満が高まり、後に西郷隆盛を首領とする反乱へと発展した。 | 4. 西南戦争は、徴兵令によって軍隊に入った農民たちが、重い税負担を強い新政府に対して全国各地で一斉に武器を持って蜂起した出来事である。 |
|--|---|---|--|
- 問7 1868年から始まった戊辰戦争において、旧幕府軍が最終的な拠点として立てこもり、最後の激戦地となった北海道函館市にある星形の城郭を何といいますか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------------|--------|--------|
| 1. 江戸城 | 2. 鶴ヶ城（若松城） | 3. 大阪城 | 4. 五稜郭 |
|--------|-------------|--------|--------|
- 問8 明治時代初期に、政府による近代化政策とともに、欧米の思想や技術、制度が積極的に導入されたことで、日本人の生活様式が急速に西洋化した社会的現象を何というか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 自由民権運動 | 2. 文明開化 | 3. 殖産興業 | 4. 富国強兵 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問9 明治政府が群馬県に富岡製糸場を設立した主な目的と、その役割についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日清戦争の賠償金をもとに、軍艦や兵器の材料となる鉄鋼を自給自足し、軍事力の強化を図るための模範とするため。 | 2. 蒸気機関を用いた大規模な綿織物工場を建設し、イギリスから輸入されていた綿布を国内産に置き換えて貿易赤字を解消するため。 | 3. 西洋の最新技術を導入して高品質な生糸を生産し、輸出を拡大するとともに、全国から集まった工女に技術を習得させて各地に広めるため。 | 4. 士族授産の一環として、廃藩置県で職を失った武士たちに大規模な農業経営のノウハウを教え、北海道の開拓を促進するため。 |
|--|--|--|--|
- 問10 明治政府が、殖産興業の初期段階において、特に製糸や紡績といった軽工業の工場を優先して建設した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 農村の余った労働力をすべて都市の工場に集め、農業を廃止しようとしたから | 2. 外国との貿易を制限し、すべての工業製品を国内だけで自給自足するため | 3. 生糸などの製品を輸出することで、近代化に必要な外貨を獲得しようとしたから | 4. 鉄道や軍艦を自ら製造するために、鉄鋼の生産量を増やす必要があったから |
|--|--------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問11 明治政府が近代化を目指して構築した「全国を直接治めるしくみ」において、廃藩置県によって各県へ派遣された、政府の命令を遂行する官吏の名称として正しいものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------|-----------|----------|
| 1. 知藩事 | 2. 老中・若年寄 | 3. 府知事・県令 | 4. 守護・地頭 |
|--------|-----------|-----------|----------|
- 問12 明治時代、ロシアの脅威に備えた北方の警備と、北海道の土地の開拓を同時に行う目的で配置された兵士とその家族を何と呼びますか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 徴兵 | 2. 屯田兵 | 3. 防人 | 4. 足輕 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問13 明治時代の初期、政府の近代化政策に伴い、都市部を中心に欧米の文化や制度が積極的に取り入れられました。この時期に見られた、煉瓦造りの建物やガス灯の設置、馬車の運行などに象徴される社会の変化を何と呼びますか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|---------|---------|
| 1. 高度経済成長 | 2. 大正デモクラシー | 3. 国風文化 | 4. 文明開化 |
|-----------|-------------|---------|---------|
- 問14 明治政府が推進した「殖産興業」の政策について、その内容と目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 欧米の進んだ技術や機械を導入するため、富岡製糸場などの官営工場を設立し、近代的な産業の育成を図った。 | 2. 地方の有力な商人に特権を与えて独占的な営業を認め、幕府時代の株仲間を再編することで流通の安定を図った | 3. 江戸時代から続く伝統的な手工業を保護するため、海外製品に高い関税をかけて輸入を制限し、国内市場を守った。 | 4. 全国の農地に一律の税率を課すことで政府の財政を安定させ、その資金をすべて海外からの武器購入に充てた。 |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 西洋から最新の機械と技術を導入し、そこで学んだ工女たちが各地で指導者となって技術を全国へ普及させた。	富岡製糸場はフランスから導入した自動繰糸機を備えた大規模な工場で、全国から集まった工女たちが最新の技術を習得しました。彼女たちが故郷に戻り、各地の製糸工場で指導的な立場に立つことで、日本全体の製糸技術の底上げが図られました。これにより、生糸は日本の近代化を支える最大の輸出花形商品となりました。
問2	答え 2 府知事・県令	廃藩置県によって藩が廃止されると、旧藩主であった知藩事は職を解かれ、東京への居住を命じられました。その代わりに政府が直接任命した「府知事」や「県令」が各地方に派遣され、政府の方針に基づいて地方行政を担う仕組みが整えられました。
問3	答え 1 五箇条の御誓文	明治新政府が発足してまもない時期に、国民や諸外国に対して新しい国づくりの方向性を示したものです。江戸時代の閉鎖的な政治を改め、話し合い（公論）によって物事を決定することや、積極的に海外の知識を取り入れて国力を高める（開国）方針が明文化されました。
問4	答え 3 太陽暦の採用	明治政府は、欧米諸国との外交や貿易を円滑に進め、日本が近代国家であることを示すために、1872年にそれまでの太陰太陽暦（旧暦）を廃止しました。この改革により、1日24時間、1週間7日といった西洋式の時間管理が国民の生活に浸透することとなりました。選択肢にある飛脚や五街道の整備は、むしろ江戸時代から続く制度や交通網に関する内容であり、文明開化による近代化の方向性とは異なります。
問5	答え 2 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。	1869年の版籍奉還では旧藩主の統治権が形式的に天皇へ返されましたが、1871年の廃藩置県ではさらに踏み込んで藩そのものを廃止しました。これにより、全国が「府」と「県」に再編され、明治政府による統一的な統治が可能となりました。他の選択肢は、版籍奉還、地租改正、徴兵令に関する記述です。
問6	答え 3 1873年に徴兵令が出され、国民皆兵の原則が示されたが、武士の特権を奪われた士族らの不満が高まり、後に西郷隆盛を首領とする反乱へと発展した。	明治政府は、1869年の版籍奉還で土地と人民の統治権を天皇に返上させ、1871年の廃藩置県で中央集権体制を確立しました。さらに1873年に徴兵令を公布して国民皆兵を目指しましたが、これは武士の独占的な特権であった軍事権を奪うものでした。生活基盤である秩禄（給与）の廃止や苗字帯刀の特権の喪失により、不満を募らせた士族たちが各地で反乱を起こし、1877年にはその最大かつ最後となった西南戦争が勃発しました。
問7	答え 4 五稜郭	戊辰戦争は1868年の鳥羽・伏見の戦いに始まり、東北での戦いを経て、1869年に北海道の函館にある五稜郭で旧幕府軍が降伏するまで続きました。五稜郭は西洋の築城技術を取り入れた星形の城郭で、幕末に北方警備の拠点として造られたものです。
問8	答え 2 文明開化	明治政府は不平等条約の改正を有利に進めるため、日本が欧米に劣らない近代国家であることを示す必要がありました。その一環として、衣食住にわたる西洋化が進められ、暦（れき）の改正や牛鍋の流行、洋服の着用などが一般に広がりしました。
問9	答え 3 西洋の最新技術を導入して高品質な生糸を生産し、輸出を拡大するとともに、全国から集まった工女に技術を習得させて各地に広めるため。	富岡製糸場は単に製品を作るだけでなく、全国から集まった女性工具（工女）に西洋式の機械製糸技術を教える「模範工場」としての役割を担っていました。ここで技術を学んだ工女たちは、地元に戻った後に指導者となり、日本各地の製糸業の近代化に大きく貢献しました。
問10	答え 3 生糸などの製品を輸出することで、近代化に必要な外貨を獲得しようとしたから	明治初期の日本において、生糸は最大の輸出商品であり、貴重な外貨（外国のお金）を稼ぐ手段でした。政府は質の高い生糸を大量に生産して輸出を増やすことで、得られた外貨を軍備の増強や重工業の機械購入といったさらなる近代化の資金に充てようと考えました。そのため、まずは製糸や紡績といった軽工業から近代化が進められました。
問11	答え 3 府知事・県令	廃藩置県によって藩が廃止されると、それまで地方を治めていた藩主（知藩事）は罷免され、東京に居住することが命じられました。代わって中央政府から「府知事（三府）」や「県令（県）」が派遣され、中央政府の意向を全国に反映させる中央集権的な統治体制が築かれました。
問12	答え 2 屯田兵	明治政府は、南下政策を進めるロシアに対する防衛力を高める必要がありました。同時に、北海道の広大な土地を開発するための労働力を求めていたため、警備と開拓の二つの役割を担わせるこの制度を設けました。当初は生活に困窮した士族が中心でしたが、後に平民も募られ、北海道各地に村が作られました。
問13	答え 4 文明開化	明治初期、欧米の生活様式が取り入れられた現象を文明開化と呼びます。建築では煉瓦造りが、照明ではガス灯やランプが普及し、食生活では牛肉を食べる習慣（牛鍋）が広まるなど、人々の暮らしは急速に西洋化しました。選択肢にある「国風文化」は平安時代、「大正デモクラシー」は大正時代、「高度経済成長」は昭和時代の中期を指す言葉です。
問14	答え 1 欧米の進んだ技術や機械を導入するため、富岡製糸場などの官営工場を設立し、近代的な産業の育成を図った。	明治政府は、欧米列強に対抗できる経済力をつけるため、国が主導して近代産業を育てる「殖産興業」を推進しました。その中心的な施策として、フランスの技術を取り入れた富岡製糸場などの官営模範工場を設立し、民間へ近代的な生産技術を広める役割を担わせました。

- 問1 1873年から実施された地租改正において、それまでの年貢（租税）の制度と大きく異なる点として正しい説明はどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 身分によって税率が異なる仕組みを廃止し、全ての国民が所有する農具や家屋の数に応じて現金で納めるようになった。 | 2. 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。 | 3. 土地の面積のみを基準とする仕組みに変わり、収穫した米を直接政府へ納める物納の制度が強化された。 | 4. 村全体で一括して税を納める仕組みを廃止し、収穫量の3パーセントを基準として米で納めるようになった。 |
|---|--|--|--|
- 問2 日本の対外関係の変遷をまとめた記録において、公地公民の原則が示された飛鳥時代に中国へ派遣された使節と、欧米の視察を通じて近代国家の建設を目指した明治時代初期に派遣された使節の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2023年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 飛鳥時代：遣唐使、明治時代：岩倉使節団 | 2. 飛鳥時代：日宋貿易、明治時代：条約改正 | 3. 飛鳥時代：遣隋使、明治時代：学制の発布 | 4. 飛鳥時代：朝鮮通信使、明治時代：文明開化 |
|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
- 問3 明治初期の地方統治に関する次の記述のうち、廃藩置県の説明として正しいものはどれですか。（2024年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 大名が土地と人民を天皇に返還し、自らは知藩事として旧領地を治めた。 | 2. 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。 | 3. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織した。 | 4. 土地の価格を基準に、地主に対して現金で税を納めさせる制度を確立した。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 1800年代後半の日本の近代化に関する出来事をまとめた記述において、新政府の樹立を宣言した直後に発生した大規模な戦争の背景として、最も適切なものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 徳川氏の権力を排除して天皇を中心とする新政府を樹立しようとする勢力と、それに抵抗する旧幕府の勢力が武力で衝突した。 | 2. 開国後に物価が上昇し、生活が苦しくなった農民たちが、世直しを求めて各地で一揆や打ちこわしを繰り返した。 | 3. 長州藩や薩摩藩などの有力な藩が、外国勢力を武力で排除するためにイギリスやフランスなどの連合艦隊と戦った。 | 4. 廃藩置県や徴兵制などの新政府の政策に反対する各地の士族たちが、西郷隆盛を担いで最大規模の反乱を起こした。 |
|--|--|---|---|
- 問5 明治政府が租税制度を改革し、地価を基準とした一定額の現金を徴収する仕組みを整えた最大の目的は何か。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 米の市場価格を政府がコントロールし、物価の安定を図るため | 2. 農村の貧富の差をなくし、すべての農民の負担を均等にするため | 3. 土地の売買を禁止することで、農民が土地を手放さないようにするため | 4. 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問6 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した最大の理由は何ですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|---|--|
| 1. 江戸時代の徴税制度をそのまま引き継ぐことで、農村の混乱を避けるため。 | 2. 農民の税負担を大幅に減らし、自由な経済活動を促進するため。 | 3. 現金の流通を抑えることで、インフレーションを防止し物価を安定させるため。 | 4. 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。 |
|---------------------------------------|----------------------------------|---|--|
- 問7 明治時代の初期、それまでの伝統的な生活様式に代わって欧米の文化や制度が積極的に取り入れられ、都市を中心に衣食住や社会全体のあり方が大きく変化した現象を何といいますか。（2021年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 殖産興業 | 3. 下意上達 | 4. 富国強兵 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 明治政府が廃藩置県などの改革を通じて、地方の権限を中央政府へ集中させた目的として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること | 2. 地方ごとに独自の法律や通貨を認め、各地域の特色を活かした経済発展を促すこと | 3. 各地の旧藩主に引き続き地方統治を任せることで、新政府への反発を抑えること | 4. 住民が選挙によって知事を選べるようにし、地方自治の仕組みを早期に確立すること |
|---|--|---|---|
- 問9 徴兵令の施行に際し、当時の平民（農民など）の間で起きた反応や、その後の社会の変化について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 戸主や学生などは徴兵を免除される規定がなかったため、全ての男子が平等に徴兵された。 | 2. 武士と同じ特権が得られると期待した農民たちが、自発的に軍へ入隊した。 | 3. 労働力を奪われることへの反発から、各地で「血税一揆」と呼ばれる反対運動が起きた。 | 4. この法令によって士族の特権が守られたため、士族による反乱は沈静化した。 |
|--|---------------------------------------|---|--|
- 問10 明治維新の指導者の一人として活躍した政治家で、天皇を中心とする中央集権国家のしくみを整えるために、版籍奉還や廃藩置県などを強力に推進した人物は誰ですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 徳川家光 | 2. 天武天皇 | 3. 木戸孝允 | 4. 足利義満 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 明治政府が行った地租改正について、それまでの江戸時代の年貢の仕組みと比較した説明として、正しいものはどれですか。（2026年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 土地の所有権を国が一括管理するため、課税基準を地価から収穫高に変更し、金貨または銀貨で納めさせた。 | 2. 物価の変動に対応して税収を増やすため、課税基準を米の収穫量から市場価格に変更し、米で納めさせた。 | 3. 農民の負担を減らして耕作意欲を高めるため、課税基準を土地の面積から収穫高に変更し、米で納めさせた。 | 4. 豊作や不作に左右されず政府の収入を安定させるため、課税基準を収穫高から地価に変更し、現金で納めさせた。 |
|--|---|--|--|
- 問12 1870年代の明治政府において、大久保利通が「有司専制」と批判されるほどの強力な指導力を発揮した背景と、その政治体制の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 江戸幕府の仕組みをそのまま継承し、将軍に代わって有力な大名たちが合議制で国の運営を行った。 | 2. 国民から選挙で選ばれた議員による議会を開設し、広く国民の意見を取り入れた民主的な政治を行った。 | 3. 征韓論を支持する士族たちの意見を反映させるため、軍事力を背景とした対外外交を最優先した。 | 4. 薩摩藩・長州藩などの出身者が実権を握り、議会を開かずに官僚主導で富国強兵や近代化を進めた。 |
|--|--|---|--|
- 問13 1872年に公布された学制が目指した、当時の教育の仕組みや内容として最も適切なものはどれですか。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. 兵役の義務を果たすための準備として、男子のみを対象に軍事教育を行う。 | 2. 身分や性別の区別なく、6歳以上のすべての子どもに小学校教育を受けさせる。 | 3. 旧武士階級の特権を維持するため、一部の選ばれた階層のみに高度な専門教育を行う。 | 4. 天皇に対する忠誠や道徳を教えることを最優先とし、国家への奉仕を義務付ける。 |
|---------------------------------------|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動する「米による物納」でしたが、この改革によって、土地の価格である「地価」を課税基準とし、天候などの影響を受けない「現金による金納」へと改められました。これにより、政府は毎年の予算を立てやすくなりました。
問2	答え 1 飛鳥時代：遣唐使、明治時代：岩倉使節団	飛鳥時代には、中国（隋や唐）の進んだ文化や中央集権的な政治制度を取り入れるために遣唐使や遣唐使が派遣され、大化の改新などの国内改革に影響を与えました。一方、明治時代初期には、右大臣の岩倉具視を特命全権大使とする岩倉使節団が派遣され、不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米諸国の進んだ文明を視察しました。平安時代の国風文化の発達による遣唐使の廃止や、江戸時代の鎖国下の外交と混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 2 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。	1869年の版籍奉還では旧藩主の統治権が形式的に天皇へ返されましたが、1871年の廃藩置県ではさらに踏み込んで藩そのものを廃止しました。これにより、全国が「府」と「県」に再編され、明治政府による統一的な統治が可能となりました。他の選択肢は、版籍奉還、地租改正、徴兵令に関する記述です。
問4	答え 1 徳川氏の権力を排除して天皇を中心とする新政府を樹立しようとする勢力と、それに抵抗する旧幕府の勢力が武力で衝突した。	戊辰戦争は、江戸幕府が滅亡し、天皇を中心とする新たな政治体制が確立される過程で起きた権力争いです。王政復古の大号令によって徳川氏の領地返上などが求められたことに旧幕府勢力が反発したことが直接のきっかけとなりました。新政府軍は最新の兵器を導入して旧幕府軍を各地で破り、日本全国を統治する実権を握りました。これにより、新政府は廃藩置県などの抜本的な改革を進める基盤を得ることとなりました。
問5	答え 4 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫量に応じて納める額が決まる「取箇（とりか）」の仕組みだったため、不作の年は政府の収入が激減するという課題がありました。地租改正によって、収穫高に関わらず「地価」という固定された基準に基づいて「現金」で納税させる仕組みに改めたことで、政府は国家予算を計画的に立てることが可能になりました。
問6	答え 4 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動したため、政府の収入が天候に左右されて不安定でした。地租改正では、土地の価値である地価を固定し、それを基準に現金で納めさせることで、政府はあらかじめ決まった額の税収を確実に得ることができるようになりました。
問7	答え 1 文明開化	明治政府が近代国家を目指す中で、西洋の技術や思想、生活習慣が急速に広まりました。煉瓦造りの建物やガス灯、太陽暦の採用、ザンギリ頭、牛鍋を食べる習慣などがその代表例であり、これらを通じた社会の近代化を文明開化と呼びます。
問8	答え 1 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること	当時の日本は、欧米列強に対抗できる強い国を作る必要がありました。そのためには、各藩がバラバラに持っていた権力を取り上げ、政府が全国の資源や兵力を直接動かせる体制を築くことが不可欠でした。この体制により、徴兵制や地租改正といった全国共通の制度が実施可能となりました。
問9	答え 3 労働力を奪われることへの反発から、各地で「血税一揆」と呼ばれる反対運動が起きた。	当時の平民にとって、働き手である男子を軍隊に取られることは生活上の大きな負担でした。また、徴兵を呼びかける「徴兵告諭」の中にあった、体を使って国に尽くすことを意味する「血税」という言葉を、本物の血を抜かれると誤解した人々による「血税一揆」も発生しました。なお、当初は戸主や学生などを対象とした免除規定が存在していました。
問10	答え 3 木戸孝允	幕末の薩長同盟において重要な役割を果たした人物で、明治新政府では廃藩置県などの改革を主導しました。これらは、江戸時代まで続いていた藩の仕組みを廃止し、全国を政府が直接統治する中央集権体制を確立することを目的としていました。
問11	答え 4 豊作や不作に左右されず政府の収入を安定させるため、課税基準を収穫高から地価に変更し、現金で納めさせた。	江戸時代の年貢は米の収穫高に応じて決まっていたため、天候不順による不作などが政府の財政を不安定にする要因となっていました。明治政府はこの問題を解決し、近代化のための安定した財政基盤を築くために、土地の価格（地価）を基準とし、豊作・不作といった作柄に関係なく、一定の額を現金で納めさせる制度を整えました。
問12	答え 4 薩摩藩・長州藩などの出身者が実権を握り、議会を開かずに官僚主導で富国強兵や近代化を進めた。	大久保利通は、欧米列強に対抗できる国家を作るためには強力な中央集権体制が必要だと考え、内務卿として実権を握りました。この藩閥（はんぼつ）勢力による独占的な政治手法が、後に板垣退助らによって「有司（役人）による専制的な政治」であると批判され、自由民権運動が盛り上がるきっかけとなりました。
問13	答え 2 身分や性別の区別なく、6歳以上のすべての子どもに小学校教育を受けさせる。	学制は「国民皆学（誰もが学ぶこと）」を理想とし、それまでの寺子屋などの教育環境を再編して、全国に小学校を設置しようとした。これは、近代化を進めるための人材育成を目的とした、日本初の本格的な教育改革でした。